

平成23年度

# 県政世論調査

(概要版)



香川 県

## はじめに

この冊子は、県政に対する県民の皆さまの意見や要望をお聴きし、今後の施策に生かすため、平成23年6～7月に実施した「県政世論調査」の結果を取りまとめたものです。

今回は、「障害者福祉」、「外国人住民と共に暮らす香川づくりの実現」、「地方分権と広域連携」、「県政の重要度と満足度」について調査しました。

この調査結果を今後の県政運営に十分に活用するとともに、各方面でも幅広く活用されることを願っています。

なお、このたびの調査にご協力いただきました県民の皆さまをはじめ、関係市町の皆さまに厚くお礼申し上げます。

平成23年10月

香川県知事公室長 榎本 典昭

## 目 次

I 調査の概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査項目.....	1
3. 調査設計.....	1
4. 回収状況.....	1
5. サンプル設計.....	1
6. 報告書の見方.....	3
II 調査回答者の属性.....	5
III 調査の集計結果.....	9
1. 障害者福祉について.....	9
2. 外国人住民と共に暮らす香川づくりの実現について.....	19
3. 地方分権と広域連携について.....	32
4. 県政の重要度と満足度について.....	41

# I 調査の概要

# I 調査の概要

## 1. 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査項目

- (1) 障害者福祉について
- (2) 外国人住民と共に暮らす香川づくりの実現について
- (3) 地方分権と広域連携について
- (4) 県政の重要度と満足度について

## 3. 調査設計

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 満20歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査法 郵送法
- (6) 調査時期 平23年6月30日～7月19日

## 4. 回収状況

- (1) 標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,629 (54.3%)

## 5. サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満20歳以上の県民
- (2) 標本数 3,000
- (3) 地点数 151地点 (市部:126地点、町部:25地点)
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

### 〔 層 化 〕

県内の市町（8市9町）を次のように5圏域に分類した。

圏 域 名	構 成 市 町
1. 高松地域	高松市・三木町・直島町・綾川町
2. 東讃地域	さぬき市・東かがわ市
3. 小豆地域	土庄町・小豆島町
4. 中讃地域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町
5. 西讃地域	観音寺市・三豊市

さらに、各圏域内を市町の規模によって

①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

### 〔 標本数の配分 〕

各層における母集団数(平成23年3月2日現在の選挙人名簿登録者数)の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

### 〔 抽 出 〕

- ① 第1次抽出単位となる調査地点として、平成23年3月2日現在の投票区を使用した。
- ② 調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③ 調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\left[ \frac{\text{層における選挙人名簿登録者数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right]$$

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④ 抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤ 調査地点における対象者の抽出は、調査地点(投票区)内から選挙人名簿によって等間隔抽出法で抽出した。
- ⑥ 以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

〈 圏域別・市町規模別 標本数及び調査地点数 〉

上段：母集団数

下段：標本数、（ ）内は調査地点数

圏域 \ 市町別	高松市	高松市以外の市	町	計
1. 高松地域	344,313 1,245(62)		47,787 173(9)	392,100 1,418(71)
2. 東讃地域		74,407 269(13)		74,407 269(13)
3. 小豆地域			27,751 100(5)	27,751 100(5)
4. 中讃地域		165,274 598(30)	58,584 212(11)	223,858 810(41)
5. 西讃地域		111,350 403(21)		111,350 403(21)

## 6. 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。  
このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) グラフにおける「N」は、比率算出の基数であり、その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 複数回答の設問の場合、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 調査対象者の職業別及び圏域別区分は次のとおりである。

### ◆職業別

農林漁業：農林漁業を営んでいる（家族従業者も含む）

商工業、サービス業、自由業など：商工業、サービス業、自由業などを営んでいる  
（家族従業者も含む）

会社、商店、官公庁などに勤務：会社、商店、官公庁などに勤めている（パートも含む）

主婦・主夫：主婦・主夫（家族の中で家事が主な役割の方）

無職：無職（学生を含む）

### ◆圏域別

高松地域：高松市・三木町・直島町・綾川町

東讃地域：さぬき市・東かがわ市

小豆地域：土庄町・小豆島町

中讃地域：丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町

西讃地域：観音寺市・三豊市

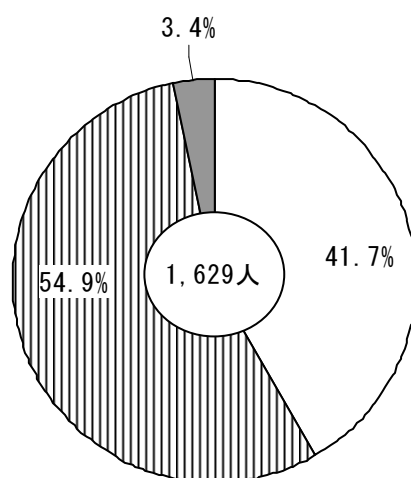
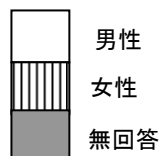
## Ⅱ 調査回答者の属性



## Ⅱ 調査回答者の属性

### 1. 性別

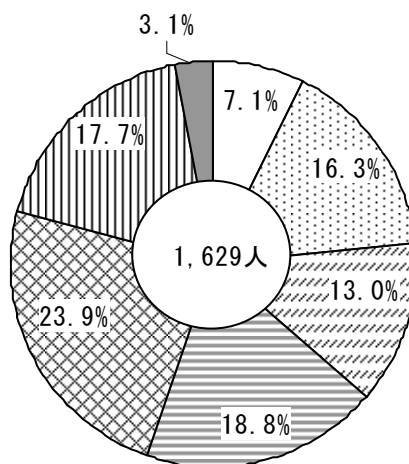
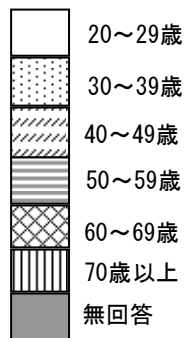
凡例



区 分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 男性	680	41.7
2. 女性	894	54.9
(無回答)	55	3.4
合 計	1,629	100.0

### 2. 年齢

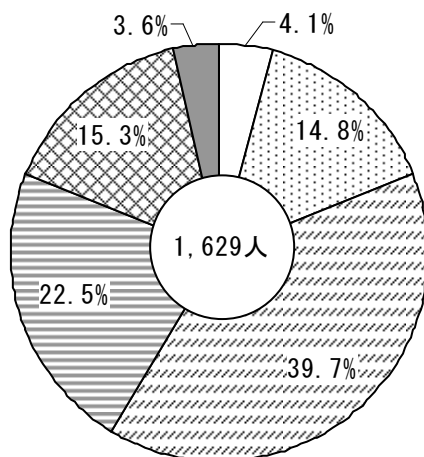
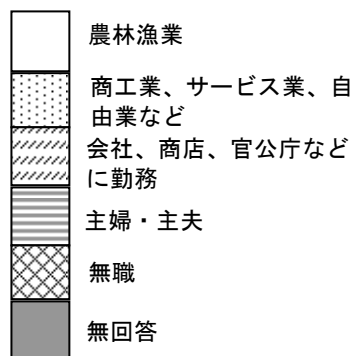
凡例



区 分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 20~29歳	116	7.1
2. 30~39歳	266	16.3
3. 40~49歳	212	13.0
4. 50~59歳	307	18.8
5. 60~69歳	389	23.9
6. 70歳以上	288	17.7
(無回答)	51	3.1
合 計	1,629	100.0

### 3. 職業

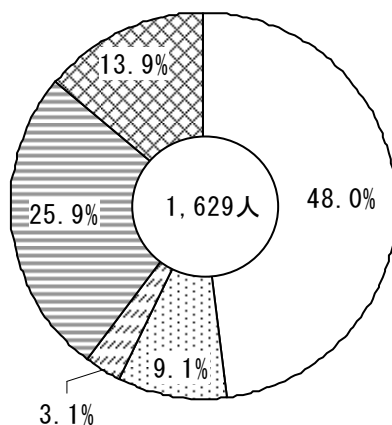
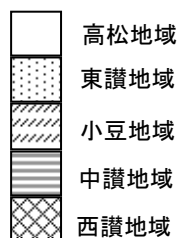
凡例



区 分	回答者数(人)	構成比 (%)
1. 農林漁業	67	4.1
2. 商工業、サービス業、自由業など	241	14.8
3. 会社、商店、官公庁などに勤務	646	39.7
4. 主婦・主夫	366	22.5
5. 無職	250	15.3
(無回答)	59	3.6
合 計	1,629	100.0

### 4. 圏域

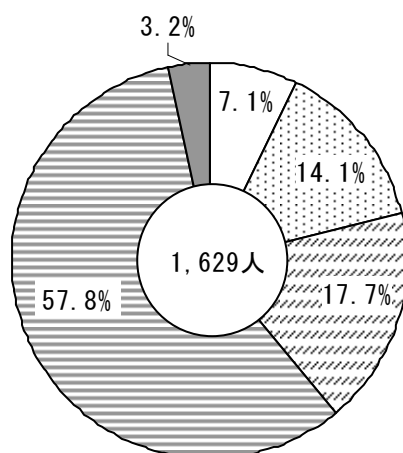
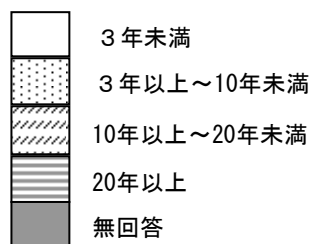
凡例



区 分	回答者数(人)	構成比 (%)
1. 高松地域	782	48.0
2. 東讃地域	149	9.1
3. 小豆地域	50	3.1
4. 中讃地域	422	25.9
5. 西讃地域	226	13.9
合 計	1,629	100.0

## 5. 居住年数

凡例



区 分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 3年未満	116	7.1
2. 3年以上～ 10年未満	230	14.1
3. 10年以上～ 20年未満	289	17.7
4. 20年以上	942	57.8
(無回答)	52	3.2
合 計	1,629	100.0

## Ⅲ 調査の集計結果

### Ⅲ 調査の集計結果

#### 1. 障害者福祉について

##### (1) 身近に障害者がいるかどうかについて

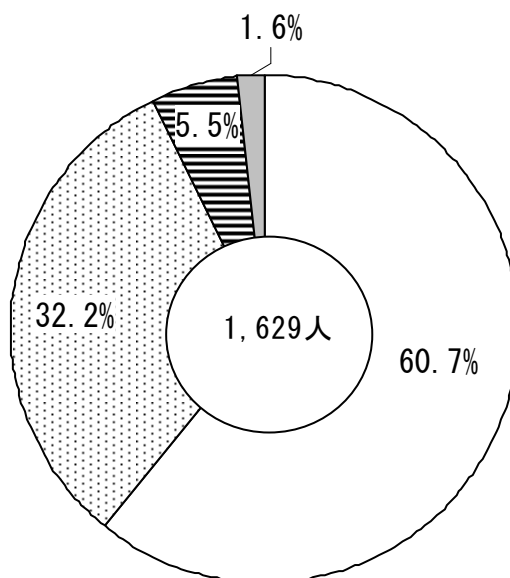
問1 ご自身に障害がある方も含め、近隣などあなたの身近に障害のある方はいますか。  
次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,629]

1 いる	60.7%
2 いない	32.2%
3 わからない	5.5%
(無回答)	1.6%

ご自身に障害がある方も含め、近隣など身近に障害者がいるかどうかについては、「いる」が60.7%と6割を超え、「いない」は32.2%となっている。

##### 〈 身近に障害者がいるかどうかについて 〉



## (2) 障害者に対する福祉への関心の程度について

問2 あなたは、障害者に対する福祉についてどの程度ご関心がありますか。次の中から  
1つだけ選んでください。

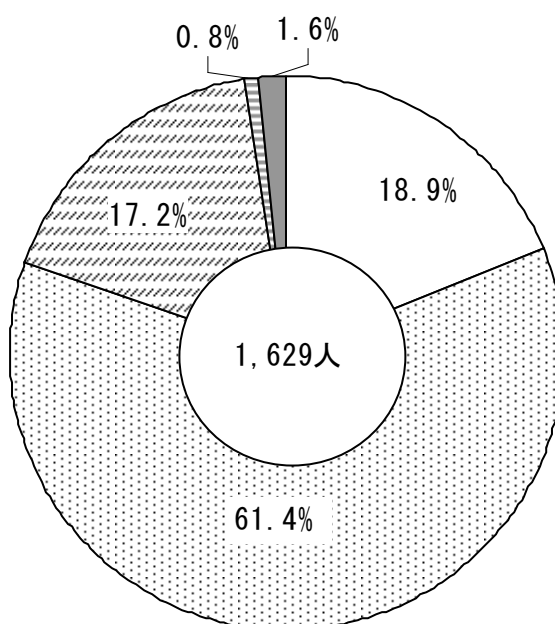
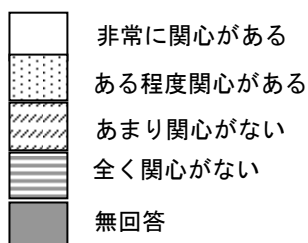
[回答者数=1,629]

1 非常に関心がある	18.9%
2 ある程度関心がある	61.4%
3 あまり関心がない	17.2%
4 全く関心がない	0.8%
(無回答)	1.6%

障害者に対する福祉への関心の程度については、「非常に関心がある」が18.9%であるが、これに「ある程度関心がある」の61.4%を合わせた【関心がある】は80.3%と8割に達している。一方、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた【関心がない】は18.0%である。

### 〈 障害者に対する福祉への関心の程度について 〉

凡例



### (3) 障害者に対する福祉に関心が持てない理由について

問2付問1 【問2で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

障害者に対する福祉に関心が持てない理由を、次の中から1つだけ選んでください。






〔回答者数=294〕

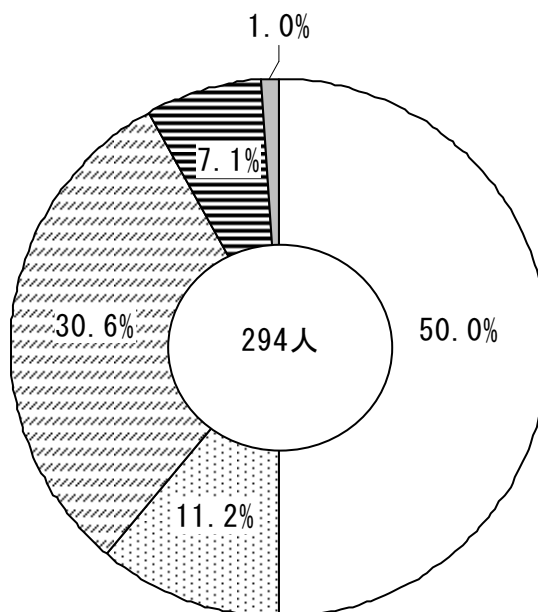
1 自分に直接関係がないから	50.0%
2 忙しいから	11.2%
3 行政にまかせているから	30.6%
4 その他	7.1%
(無回答)	1.0%

障害者に対する福祉に関心が持てない理由については、「自分に直接関係がないから」が50.0%と半数を占めており、次いで「行政にまかせているから」が30.6%、「忙しいから」が11.2%などとなっている。

#### 〈 障害者に対する福祉に関心が持てない理由について 〉

凡例

	自分に直接関係がないから
	忙しいから
	行政にまかせているから
	その他
	無回答



(4) 障害のある方も可能な限り地域において生活できる社会を目指すという施策について

問3 障害者自立支援法では、障害のある方も可能な限り地域において生活できる社会を目指すことが大きなテーマのひとつになっています。

具体的には、障害のある方々が入所施設などを利用し続けるのではなく、できるかぎりグループホームなど地域の中で福祉サービスを利用しながら生活できるようにすることをめざしています。

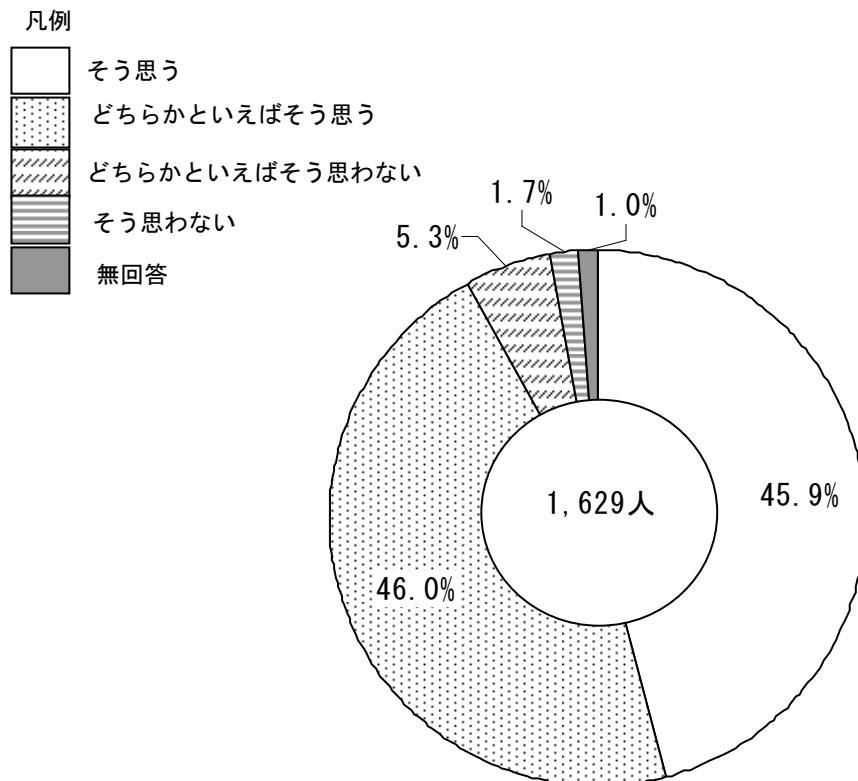
このような施策についてあなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,629]

1	そう思う	45.9%
2	どちらかといえばそう思う	46.0%
3	どちらかといえばそう思わない	5.3%
4	そう思わない	1.7%
	(無回答)	1.0%

障害のある方も可能な限り地域において生活できる社会を目指すという施策については、「そう思う」が45.9%、「どちらかといえばそう思う」が46.0%で、これらを合わせた【そう思う】が91.9%と9割を超える。一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた【そう思わない】は7.0%となっている。

〈 障害のある方も可能な限り地域において生活できる社会を目指すという施策について 〉





(5) 障害のある方が地域で生活していくために必要なことについて

問3付問1 【問3で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

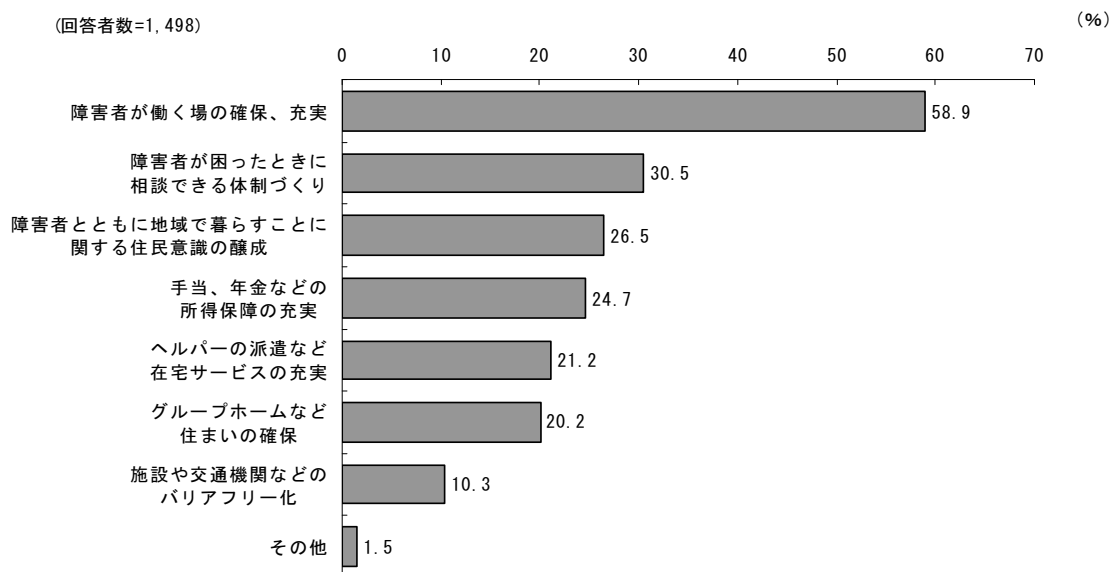
障害のある方が地域で生活していくためには何が重要だと考えますか。  
次の中から2つまで選んでください。

[回答者数=1,498]

1 障害者が働く場の確保、充実	58.9%
2 障害者が困ったときに相談できる体制づくり	30.5%
3 障害者ととともに地域で暮らすことに関する住民意識の醸成	26.5%
4 手当、年金などの所得保障の充実	24.7%
5 ヘルパーの派遣など在宅サービスの充実	21.2%
6 グループホームなど住まいの確保	20.2%
7 施設や交通機関などのバリアフリー化	10.3%
8 その他	1.5%

障害のある方が地域で生活していくために必要なことについては、「障害者が働く場の確保、充実」が58.9%と半数を超え最も高く、次いで「障害者が困ったときに相談できる体制づくり」が30.5%、「障害者ととともに地域で暮らすことに関する住民意識の醸成」が26.5%、「手当、年金などの所得保障の充実」が24.7%などとなっている。

< 障害のある方が地域で生活していくために必要なことについて >



(6) 障害のある方もその能力を最大限に生かして、仕事に就くことができる社会の実現をめざす考え方について

問4 障害者自立支援法では、障害者の就労支援もテーマになっています。これは、障害のある方もできる限りその能力を最大限に生かして、仕事に就くことができる社会の実現をめざすものですが、このような考え方についてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

なお、ここでいう障害者とは、児童や高齢者は含みません。

[回答者数=1,629]

1	そう思う	61.9%
2	どちらかといえばそう思う	33.5%
3	どちらかといえばそう思わない	2.4%
4	そう思わない	1.1%
	(無回答)	1.1%

障害のある方もその能力を最大限に生かして、仕事に就くことができる社会の実現をめざすという考え方については、「そう思う」が61.9%と6割を超え、「どちらかといえばそう思う」の33.5%を合わせると、【そう思う】が95.4%と9割を超える。一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた【そう思わない】は3.5%となっている。

〈 障害のある方もその能力を最大限に生かして、仕事に就くことができる社会の実現をめざす考え方について 〉

凡例



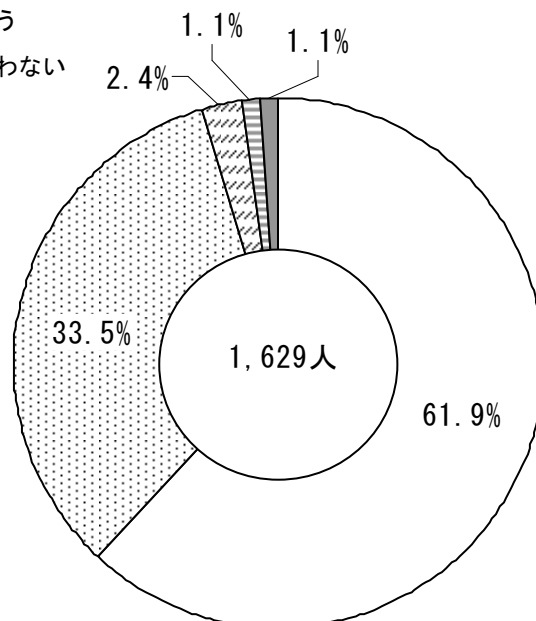
そう思う

どちらかといえばそう思う

どちらかといえばそう思わない

そう思わない

無回答



(7) 障害のある方が就労するために必要なことについて

問4付問1 【問4で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

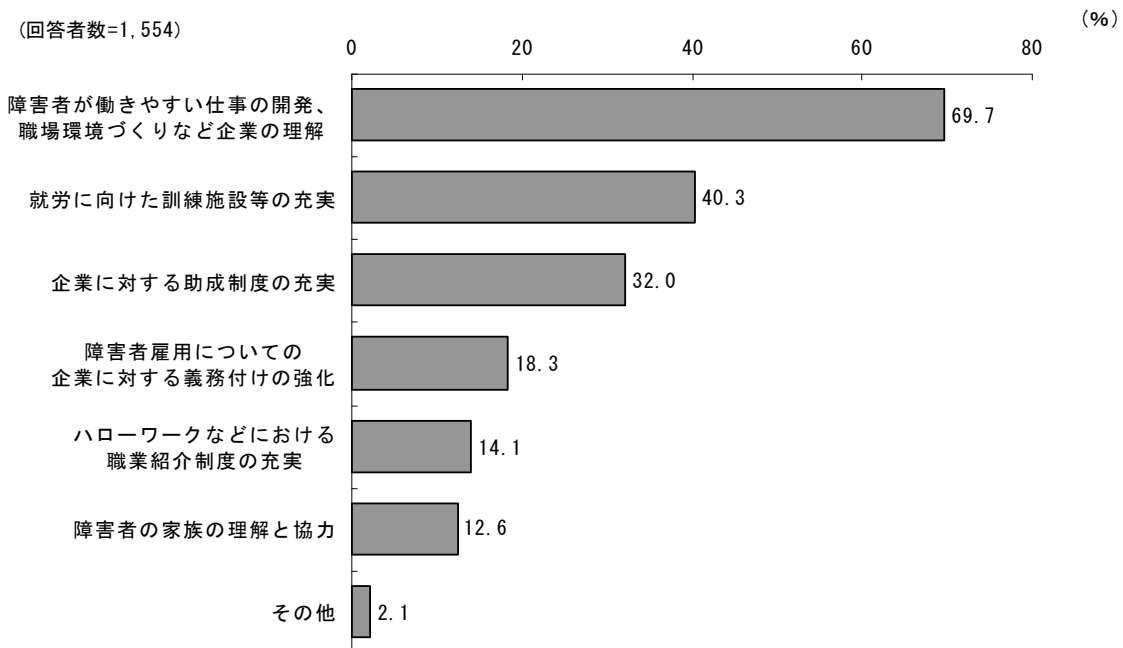
障害のある方が就労するためには何が重要だと考えますか。次の中から  
2つまで選んでください。

〔回答者数=1,554〕

1 障害者が働きやすい仕事の開発、職場環境づくりなど企業の理解	69.7%
2 就労に向けた訓練施設等の充実	40.3%
3 企業に対する助成制度の充実	32.0%
4 障害者雇用についての企業に対する義務付けの強化	18.3%
5 ハローワークなどにおける職業紹介制度の充実	14.1%
6 障害者の家族の理解と協力	12.6%
7 その他	2.1%

障害のある方が就労するために必要なことについては、「障害者が働きやすい仕事の開発、職場環境づくりなど企業の理解」が69.7%と7割近くで最も高く、次いで「就労に向けた訓練施設等の充実」が40.3%、「企業に対する助成制度の充実」が32.0%などとなっている。

〈 障害のある方が就労するために必要なことについて 〉



(8) 障害のある方の権利擁護のために行政が特に力を入れるべきことについて

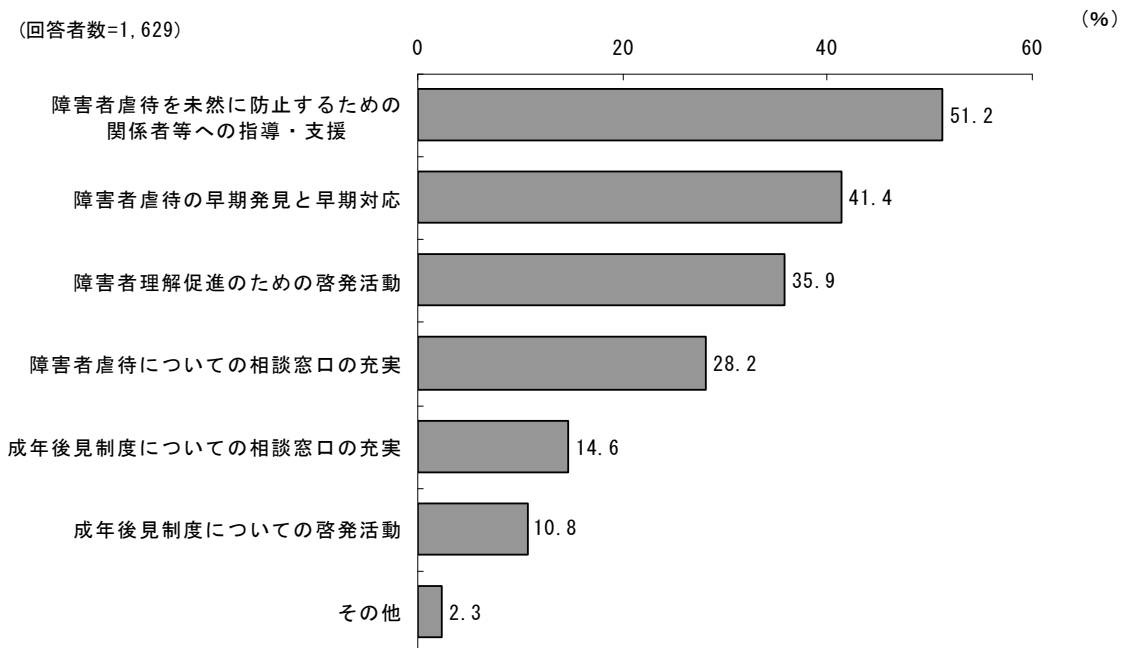
問5 障害のある方の権利擁護（差別・虐待防止など）について、行政はどんなことに特に力を入れるべきだと考えますか。次の中から2つまで選んでください。

〔回答者数=1,629〕

1 障害者虐待を未然に防止するための関係者等への指導・支援	51.2%
2 障害者虐待の早期発見と早期対応	41.4%
3 障害者理解促進のための啓発活動	35.9%
4 障害者虐待についての相談窓口の充実	28.2%
5 成年後見制度についての相談窓口の充実	14.6%
6 成年後見制度についての啓発活動	10.8%
7 その他	2.3%

障害のある方の権利擁護のために行政が特に力を入れるべきことについては、「障害者虐待を未然に防止するための関係者等への指導・支援」が51.2%と半数を超え最も高く、次いで「障害者虐待の早期発見と早期対応」が41.4%、「障害者理解促進のための啓発活動」が35.9%、「障害者虐待についての相談窓口の充実」が28.2%などとなっている。

〈 障害のある方の権利擁護のために行政が特に力を入れるべきことについて 〉



### (9) 障害のある方の防災対策として必要なことについて

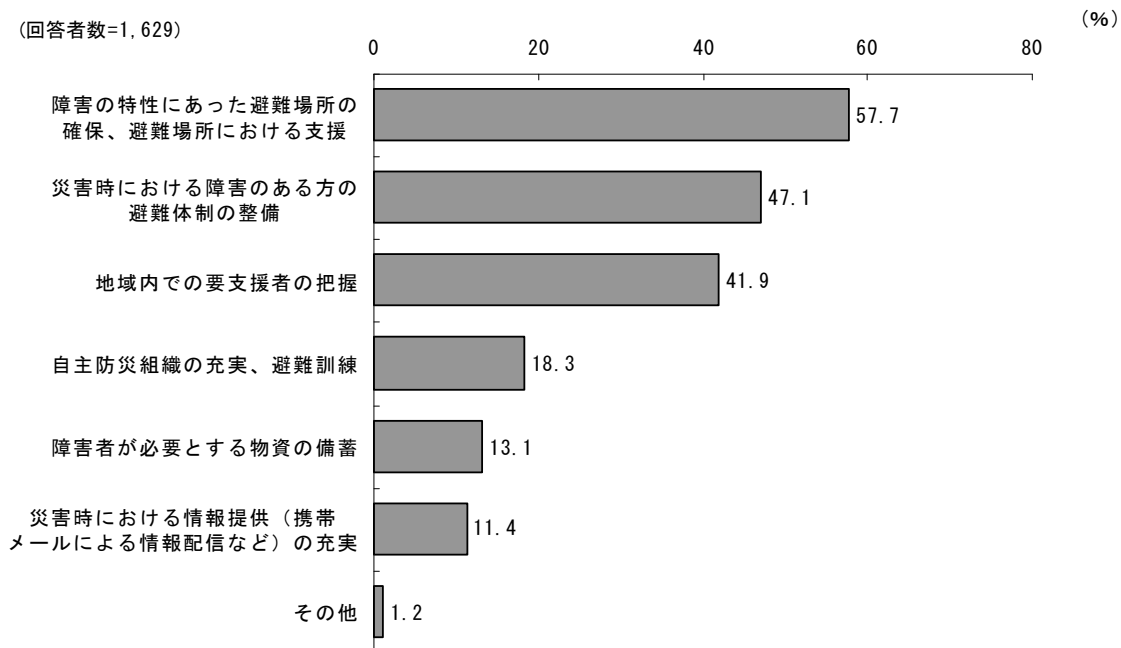
問6 東日本大震災のような災害に備えるため、障害のある方の防災対策として何が  
必要だと考えますか。次の中から2つまで選んでください。

[回答者数=1,629]

1 障害の特性にあった避難場所の確保、避難場所における支援	57.7%
2 災害時における障害のある方の避難体制の整備	47.1%
3 地域内での要支援者の把握	41.9%
4 自主防災組織の充実、避難訓練	18.3%
5 障害者が必要とする物資の備蓄	13.1%
6 災害時における情報提供（携帯メールによる情報配信など）の充実	11.4%
7 その他	1.2%

障害のある方の防災対策として必要なことについては、「障害の特性にあった避難場所の確保、避難場所における支援」が57.7%と半数を超え最も高く、次いで「災害時における障害のある方の避難体制の整備」が47.1%、「地域内での要支援者の把握」が41.9%などとなっている。

#### 〈 障害のある方の防災対策として必要なことについて 〉



(10) 障害のある方が地域でいきいきと暮らすために、行政が特に力を入れるべきことについて

問7 障害のある方が地域でいきいきと暮らすために、行政はどんなことに特に力を入れるべきだと考えますか。次の中から3つまで選んでください。

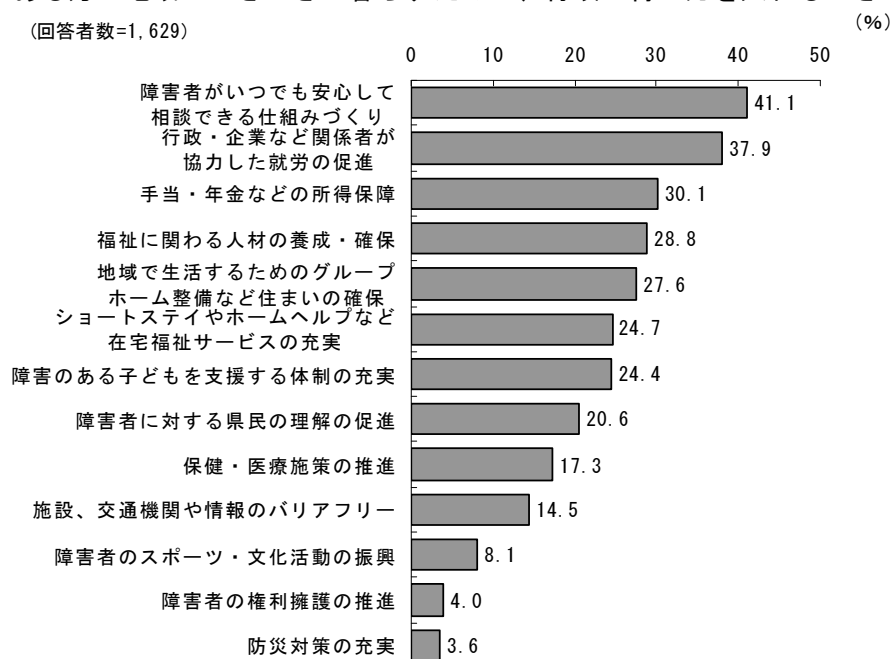
[回答者数=1,629]

1	障害者がいつでも安心して相談できる仕組みづくり	41.1%
2	行政・企業など関係者が協力した就労の促進	37.9%
3	手当・年金などの所得保障	30.1%
4	福祉に関わる人材の養成・確保	28.8%
5	地域で生活するためのグループホーム整備など住まいの確保	27.6%
6	ショートステイやホームヘルプなど在宅福祉サービスの充実	24.7%
7	障害のある子どもを支援する体制の充実	24.4%
8	障害者に対する県民の理解の促進	20.6%
9	保健・医療施策の推進	17.3%
10	施設、交通機関や情報のバリアフリー	14.5%
11	障害者のスポーツ・文化活動の振興	8.1%
12	障害者の権利擁護の推進	4.0%
13	防災対策の充実	3.6%

障害のある方が地域でいきいきと暮らすために、行政が特に力を入れるべきことについては、「障害者がいつでも安心して相談できる仕組みづくり」が41.1%と4割を超え最も高く、次いで「行政・企業など関係者が協力した就労の促進」が37.9%、「手当・年金などの所得保障」が30.1%、「福祉に関わる人材の養成・確保」が28.8%、「地域で生活するためのグループホーム整備など住まいの確保」が27.6%などとなっている。

〈 障害のある方が地域でいきいきと暮らすために、行政が特に力を入れるべきことについて 〉

(回答者数=1,629)



## 2. 外国人住民と共に暮らす香川づくりの実現について

### (1) 国際化についての関心の有無

問8 あなたは国際交流、国際協力、外国人住民支援など、国際化について関心がありますか。  
次の中から1つだけ選んでください。

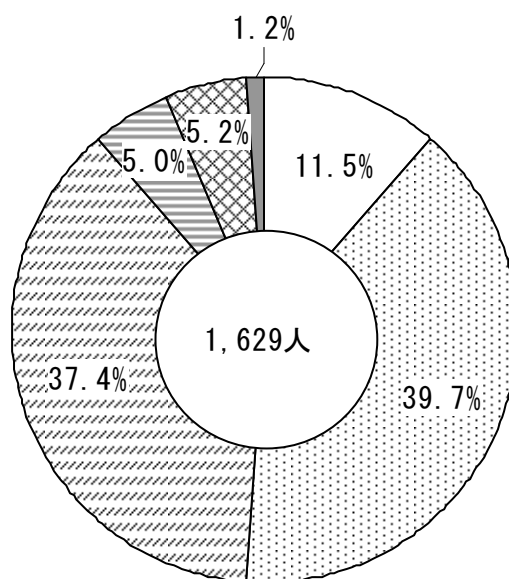
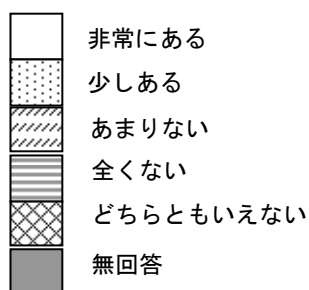
[回答者数=1,629]

1 非常にある	11.5%
2 少しある	39.7%
3 あまりない	37.4%
4 全くない	5.0%
5 どちらともいえない	5.2%
(無回答)	1.2%

国際交流、国際協力、外国人住民支援など、国際化について関心があるかどうかについては、「非常にある」は11.5%であるが、これに「少しある」の39.7%を合わせると、【ある】が51.2%と半数を超える。一方、「あまりない」が37.4%で、これに「全くない」(5.0%)を合わせた【ない】も42.4%と4割を超える。

#### 〈 国際化についての関心の有無 〉

凡例



(2) 近所や職場で外国人が増えたと感じるかについて

問9 あなたの近所や職場では外国人が増えたと感じていますか。次の中から1つだけ選んでください。

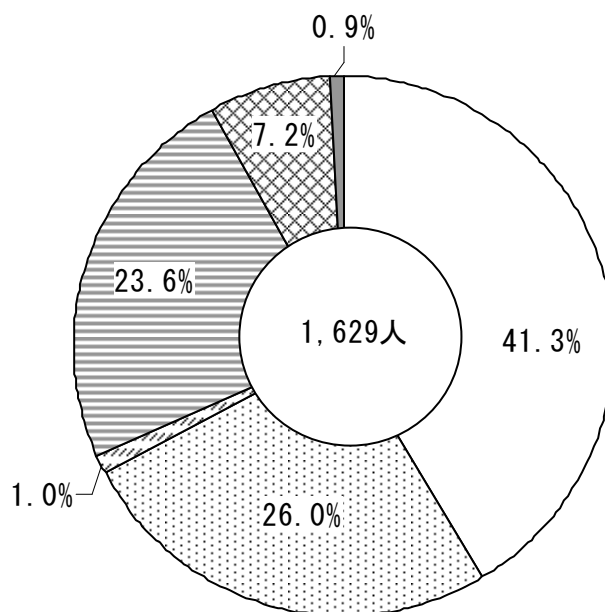
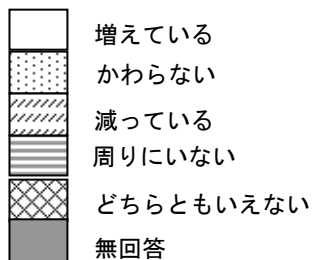
[回答者数=1,629]

1 増えている	41.3%
2 かわらない	26.0%
3 減っている	1.0%
4 周りにいない	23.6%
5 どちらともいえない	7.2%
(無回答)	0.9%

近所や職場で外国人が増えたと感じているかどうかについては、「増えている」が41.3%と4割を超え最も高い。次いで「かわらない」が26.0%、「周りにいない」が23.6%、「どちらともいえない」が7.2%で、「減っている」は1.0%に過ぎない。

〈 近所や職場で外国人が増えたと感じるかについて〉

凡例





(3) 普段の生活の中で外国人の存在を身近に感じるかについて

問 10 あなたは、普段生活をしていて、外国人の存在を身近に感じますか。次の中から  
1つだけ選んでください。

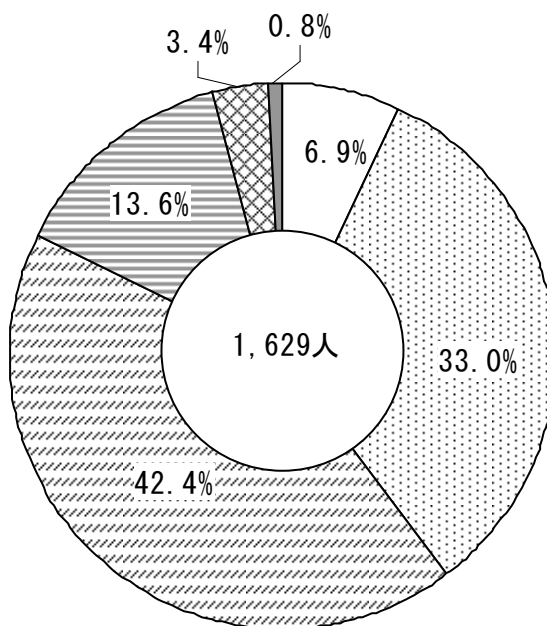
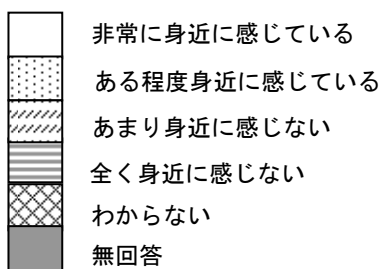
[回答者数=1,629]

1 非常に身近に感じている	6.9%
2 ある程度身近に感じている	33.0%
3 あまり身近に感じない	42.4%
4 全く身近に感じない	13.6%
5 わからない	3.4%
(無回答)	0.8%

普段生活をしていて、外国人の存在を身近に感じるかどうかについては、「あまり身近に感じない」が42.4%と4割を超え最も高く、これに「全く身近に感じない」の13.6%を合わせた【身近に感じない】が56.0%と半数を超える。一方、「ある程度身近に感じている」が33.0%で、「非常に身近に感じている」の6.9%を合わせた【身近に感じている】は39.9%と約4割となっている。

〈 普段の生活の中で外国人の存在を身近に感じるかについて 〉

凡例



(4) 普段の生活の中で外国人に対して持っている印象について

問 11 あなたは普段、生活をしている中で、外国人に対してどのような印象をお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

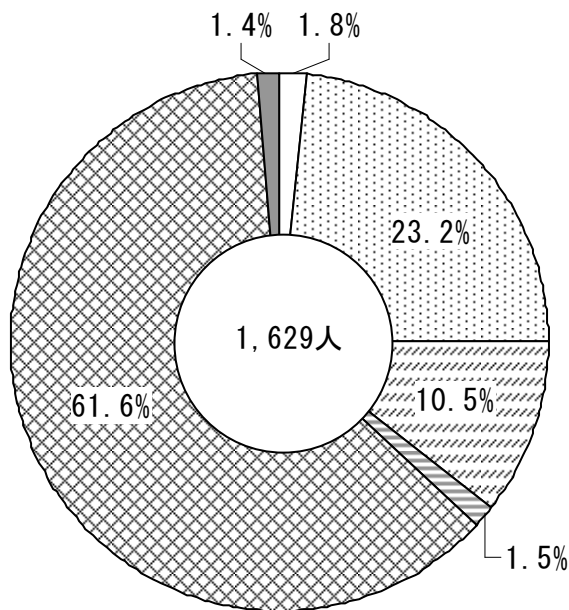
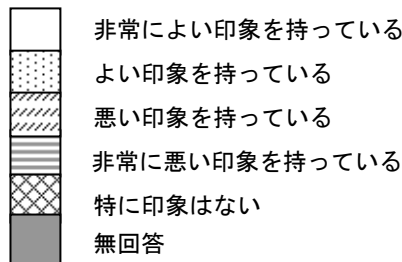
〔回答者数=1,629〕

1 非常によい印象をもっている	1.8%
2 よい印象を持っている	23.2%
3 悪い印象をもっている	10.5%
4 非常に悪い印象をもっている	1.5%
5 特に印象はない	61.6%
(無回答)	1.4%

普段の生活の中で外国人に対して持っている印象については、「特に印象はない」が61.6%と6割を超えている中で、「よい印象を持っている」が23.2%で、これに「非常によい印象をもっている」の1.8%を合わせた【よい印象を持っている】が25.0%となっている。一方、「悪い印象をもっている」が10.5%で、「非常に悪い印象をもっている」の1.5%を合わせた【悪い印象をもっている】は12.0%となっている。

〈 普段の生活の中で外国人に対して持っている印象について 〉

凡例



(5) 居住地域での外国人とのトラブルの有無

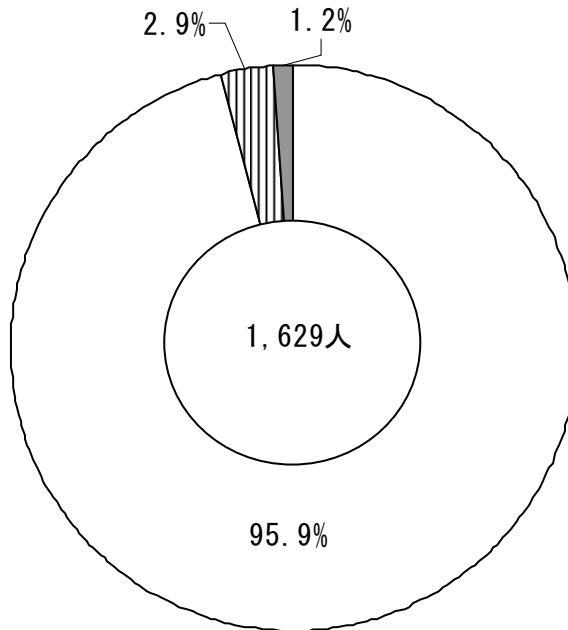
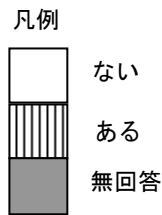
問 12 あなたのお住まいの地域で外国人とのトラブルがありますか。次の中からどちらか選んでください。

[回答者数=1,629]

1 ない	95.9%
2 ある	2.9%
(無回答)	1.2

居住地域での外国人とのトラブルの有無については、「ない」が95.9%と9割を超え、「ある」は2.9%と1割に満たない。

〈 居住地域での外国人とのトラブルの有無 〉



## (6) 居住地域での外国人とのトラブルの具体的内容

問 12 付問 1 【問 12 で「2」と答えた方にお聞きします】

具体的にどのようなトラブルがありますか。

〔回答者数=44 人、59 件〕

・ゴミの出し方（ルールを守らない、分別方法、河川などへの放置、空き缶のポイ捨てなど）	10 人
・マナーが悪い（通行中、スーパーや仕事場、公共の場所で宴会、洗濯物をどこにでも干すなど）	10 人
・万引き・窃盗（スーパーなどで万引き・野菜や果物を箱ごと持ち去り、農作物や魚介を勝手に取って行くなど）	9 人
・近所付き合いがうまくいかない（地域や自治会などの決まりを守らない、生活習慣や価値観などの違いによる）	8 人
・近隣への配慮がない（アパートなどに集まって大声で会話・騒ぐ、花火・大音量で音楽など。夜中でも）	7 人
・治安に関する不安（空き巣が増えた、住宅の敷地など私有地への不法侵入、母子殺人など）	4 人
・聞かない（注意しても聞く耳を持たない、自分の思いを言い張るなど）	4 人
・言葉が通じない（意思疎通ができない、説明が伝わらないなど）	3 人
・商店でのトラブル（スーパーでの販売個数制限を守らないなど）	2 人
・企業内のトラブル（あまり仕事をしない、契約を守らないなど）	2 人

この間には 44 人から 59 件の回答があった（うち 2 人、2 件はもともと問 13 付問 1 に回答されたものであったが、内容は問 12 付問 1 に対応するものであったので、問 12 付問 1 の回答に加えた）。

「ゴミの出し方」や「マナーが悪い」をはじめ、「近所付き合いがうまくいかない」、「近隣への配慮がない」といった地域社会での問題を指摘する回答者が目立ち、相手の言うことを「聞かない」という指摘や、「言葉が通じない」こともあって「意思疎通ができない」や「説明が伝わらない」といった指摘もみられる。

一方、「万引き・窃盗」や「治安に関する不安」を指摘する回答者もみられる。

(7) 県内で外国人が困っている場面に遭遇したことの有無

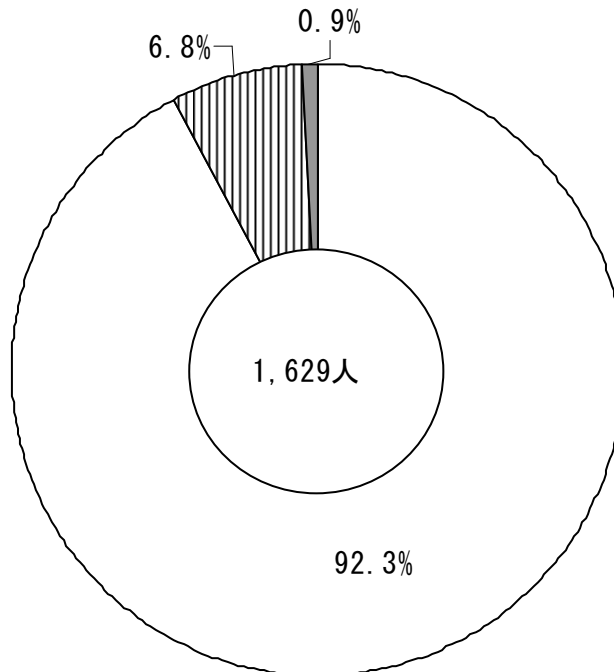
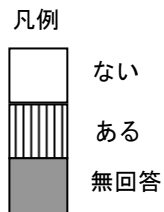
問 13 あなたは、県内で、外国人が困っている場面に遭遇したことはありますか。  
次の中からどちらか選んでください。

〔回答者数=1,629〕

1 ない	92.3%
2 ある	6.8%
(無回答)	0.9%

県内で、外国人が困っている場面に遭遇したことの有無については、「ない」が 92.3%と 9割を超え、「ある」は 6.8%と 1割に満たない。

〈 県内で外国人が困っている場面に遭遇したことの有無 〉



(8) 県内で、外国人が困っている場面に遭遇した内容と、どのように対応したか

問 13 付問 1 【問 13 で「2」と答えた方にお聞きします】

あなたが遭遇した内容と、そのとき、あなたがどのように対応したかについてお書きください。

〔回答者数=101人、107件〕

・目的地・場所探し（→簡単な英語・やさしい日本語と身振り手振りなどで説明。通じない場合は当該施設まで連れて行った）	37人
・公共交通や公共施設などの利用方法（→簡単な英語・やさしい日本語や身振り手振りで説明。やってみせるなど）	14人
・地域、学校などでのコミュニケーション（→簡単な英語・やさしい日本語や身振り手振りで説明、代わりに読んであげたなど）	11人
・発送、送金、両替など（→簡単な英語・やさしい日本語や身振り手振りで説明、代わりにやってあげた、当該機関の職員が対応など）	9人
・病気やケガ（→病院・医院を紹介する、または連れて行くが、言葉が通じず、うまく症状などが伝わらないなど）	9人
・買い物や飲食（→商品の確認や置き場所、メニューなどをやさしい日本語や身振り手振りで説明など）	9人
・職探し、職場への順応（相談に乗り問い合わせたりしたが、時間を要する、後で身振り手振りを交えてゆっくり説明など）	6人
・住居の確保（→何もできなかった）	2人
・運転免許の取得（→話を聞いたり励ましたりした）	1人
・その他（→話を聞いたりして助けてあげた、なにもできなかったなど）	9人

この間には103人から109件の回答があった（うち2人、2件は、その内容が問12付問1に対応するものであったので、問12付問1の回答に移行した）。

「目的地・場所探し」に遭遇した回答者が最も多く、ほとんどの方が簡単な英語・やさしい日本語と身振り手振りなどで説明しようとしているし、通じない場合は当該施設まで連れて行った方もみられた。

「公共交通や公共施設などの利用方法」、「地域、学校などでのコミュニケーション」、「発送、送金、両替など」、「病気やケガ」及び「買い物や飲食」などといった日常生活でよくある出来事に遭遇した方も多く、ほとんどの方が簡単な英語・やさしい日本語や身振り手振りで説明するなど少しでも役立つように努めている様子がうかがえる。

少数だが、外国人に対する暴力やドメスティック・バイオレンスなどといった対応が難しいことに遭遇した方もみられる。

(9) 外国人住民とどのようなお付き合いをしたいかについて

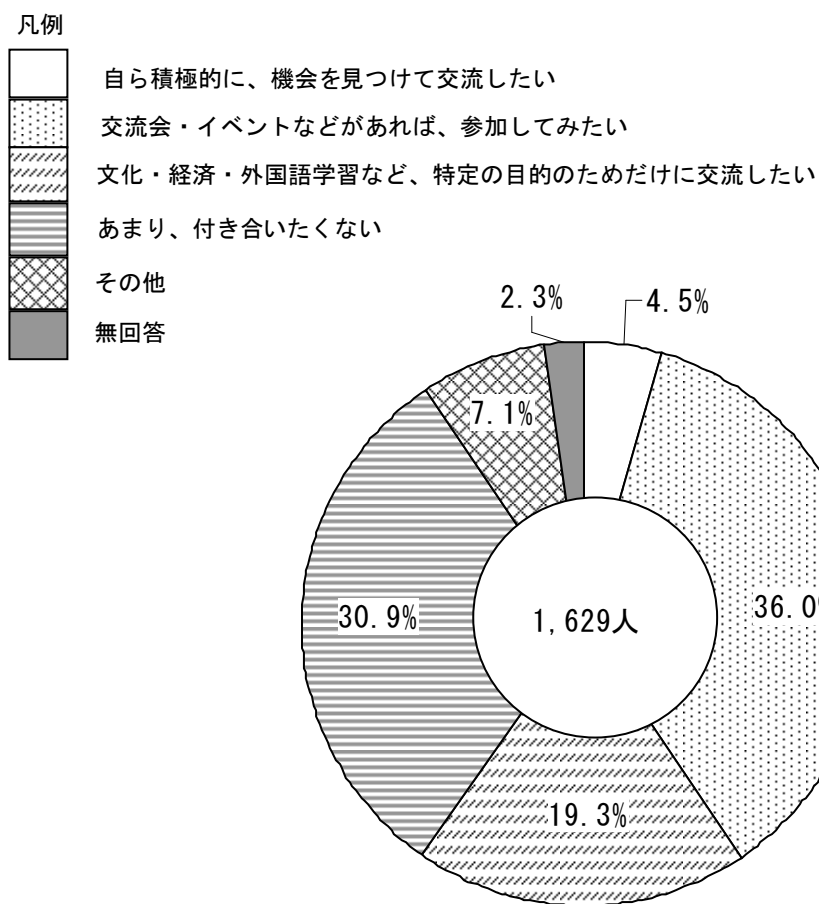
問 14 あなたは、外国人住民とどのようなお付き合いをしたいですか。次の中から  
1つだけ選んでください。

[回答者数=1,629]

1 自ら積極的に、機会を見つけて交流したい	4.5%
2 交流会・イベントなどがあれば、参加してみたい	36.0%
3 文化・経済・外国語学習など、特定の目的のためだけに交流したい	19.3%
4 あまり、付き合いたくない	30.9%
5 その他	7.1%
(無回答)	2.3%

外国人住民とどのようなお付き合いをしたいかについては、「交流会・イベントなどがあれば、参加してみたい」が36.0%と3割を超えて最も高く、次いで「あまり、付き合いたくない」も30.9%と3割を超えている。これらのほか、「文化・経済・外国語学習など、特定の目的のためだけに交流したい」が19.3%で、「自ら積極的に、機会を見つけて交流したい」が4.5%となっている。

〈 外国人住民とどのようなお付き合いをしたいかについて 〉



(10) 外国人と友好的な関係を築き、共に暮らしていくために、県民の意識・関心を高めていくには

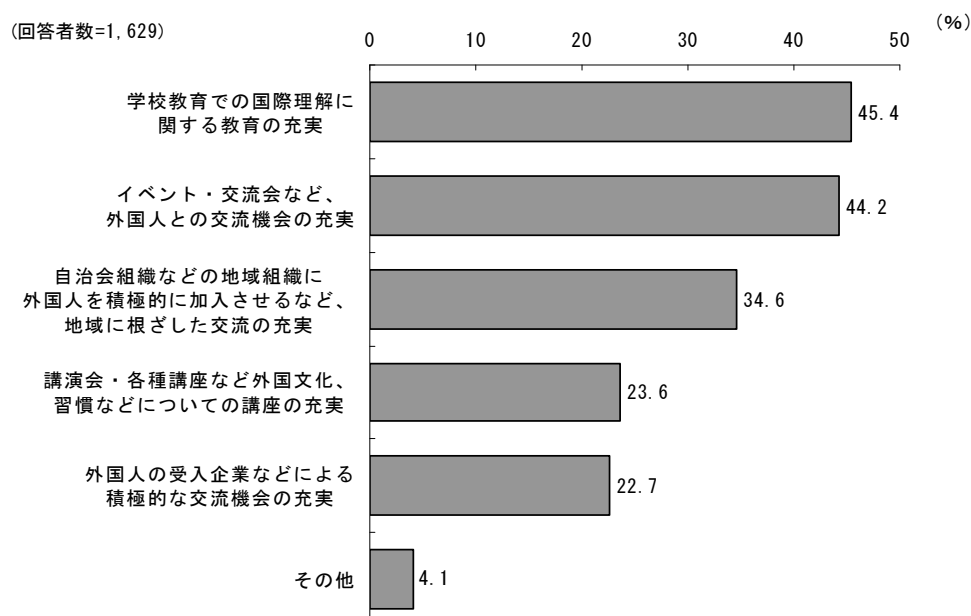
問 15 あなたは文化や言葉、生活習慣の異なる外国人と友好的な関係を築き、共に暮らしていくために、県民の意識・関心を高めていくには、どのようにすればよいとお考えですか。次の中から2つまで選んでください。

[回答者数=1,629]

1	学校教育での国際理解に関する教育の充実	45.4%
2	イベント・交流会など、外国人との交流機会の充実	44.2%
3	自治会組織などの地域組織に外国人を積極的に加入させるなど、地域に根ざした交流の充実	34.6%
4	講演会・各種講座など外国文化、習慣などについての講座の充実	23.6%
5	外国人の受入企業などによる積極的な交流機会の充実	22.7%
6	その他	4.1%

外国人と友好的な関係を築き、共に暮らしていくために、県民の意識・関心を高めていくには、「学校教育での国際理解に関する教育の充実」が 45.4%、「イベント・交流会など、外国人との交流機会の充実」が 44.2%と、これらが 4 割を超えており、以下、「自治会組織などの地域組織に外国人を積極的に加入させるなど、地域に根ざした交流の充実」が 34.6%、「講演会・各種講座など外国文化、習慣などについての講座の充実」が 23.6%、「外国人の受入企業などによる積極的な交流機会の充実」が 22.7%などとなっている。

〈 外国人と友好的な関係を築き、共に暮らしていくために、  
県民の意識・関心を高めていくには 〉





(11) 外国人住民が地域社会に溶け込むためには、外国人自身がどのようなことをすればよいか

問 16 あなたは外国人住民が地域社会に溶け込むためには、外国人自身がどのようなことをすればよいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

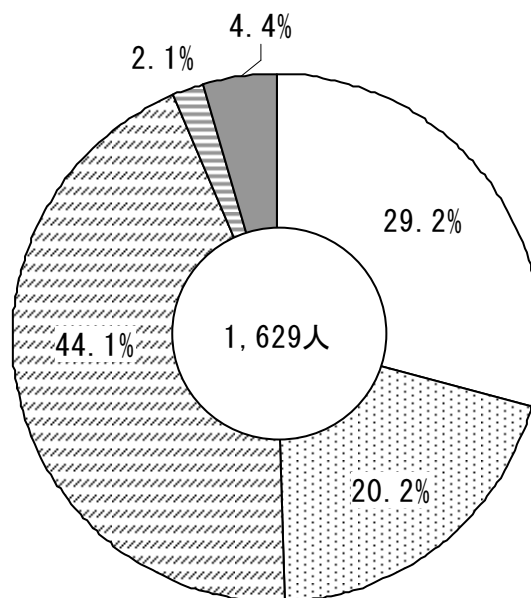
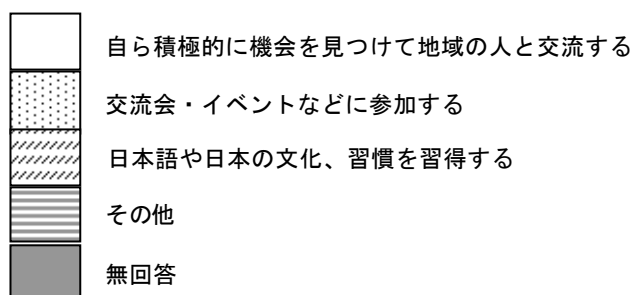
〔回答者数=1,629〕

1 自ら積極的に機会を見つけて地域の人と交流する	29.2%
2 交流会・イベントなどに参加する	20.2%
3 日本語や日本の文化、習慣を習得する	44.1%
4 その他	2.1%
(無回答)	4.4%

外国人住民が地域社会に溶け込むためには、外国人自身がどのようなことをすればよいかについては、「日本語や日本の文化、習慣を習得する」が44.1%と4割を超えて最も高く、次いで「自ら積極的に機会を見つけて地域の人と交流する」が29.2%、「交流会・イベントなどに参加する」が20.2%などとなっている。

〈 外国人住民が地域社会に溶け込むためには、外国人自身がどのようなことをすればよいか 〉

凡例



(12) 県が外国人住民の支援のための施策を実施しているのを知っているか

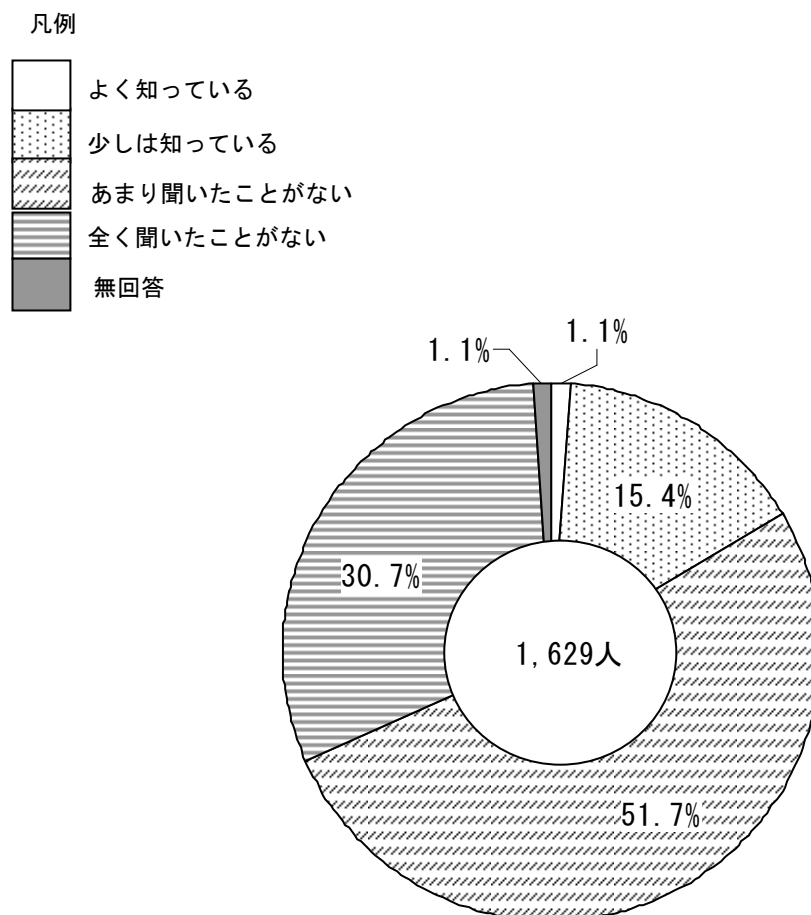
問 17 あなたは県が外国人住民の支援のための施策を実施しているのをご存知ですか。  
次の中から1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,629〕

1 よく知っている	1.1%
2 少しは知っている	15.4%
3 あまり聞いたことがない	51.7%
4 全く聞いたことがない	30.7%
(無回答)	1.1%

県が外国人住民の支援のための施策を実施しているのを知っているかについては、「あまり聞いたことがない」が51.7%と5割を超え、これに「全く聞いたことがない」の30.7%を合わせた【聞いたことがない】が82.4%と8割を超えている。一方、「少しは知っている」が15.4%で、「よく知っている」の1.1%を合わせた【知っている】は16.5%と2割に満たない。

〈 県が外国人住民の支援のための施策を実施しているのを知っているか 〉



(13) 外国人住民と共に暮らす香川づくりを実現するために県に期待すること

問 18 外国人住民と共に暮らす香川づくりを実現するために、県に期待することはありますか。あればお書きください。

〔回答者数=232 人、269 件〕

・多様な交流・イベントの企画・開催	84 人
・文化・習慣、マナー・ルールの習得	38 人
・コミュニケーション能力の向上	20 人
・企業や留学生の誘致、受入環境の整備	19 人
・不法就労の排除、治安の維持	19 人
・相互理解の増進	15 人
・外国人住民への支援	12 人
・広報・情報提供の拡充	11 人
・相談窓口の整備・充実	10 人
・雇用・就労の場の確保・充実	9 人
・学校教育の充実	8 人
・案内・標識の改善	6 人
・県のあり方	6 人
・差別（意識）の解消	3 人
・権利と義務	3 人
・選挙権の付与	2 人
・社会参加・人材活用	2 人
・その他	2 人

この間には、273 人から 310 件の回答があったが、うち 41 人、41 件はこの間の主旨に合わない内容であったので、除外して、232 人、269 件を有効回答とした。

「多様な交流・イベントの企画・開催」に係る取組を期待する回答者が最も多く、次いで「文化・習慣、マナー・ルールの習得」が多い。これらに、「コミュニケーション能力の向上」、「企業や留学生の誘致、受入環境の整備」、「不法就労の排除、治安の維持」及び「相互理解の増進」などが続いている。

### 3. 地方分権と広域連携について

#### (1) 「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことについて

問 19 あなたは「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことについて、どのように考えますか。あなたの考えに一番近いものを1つだけ選んでください。

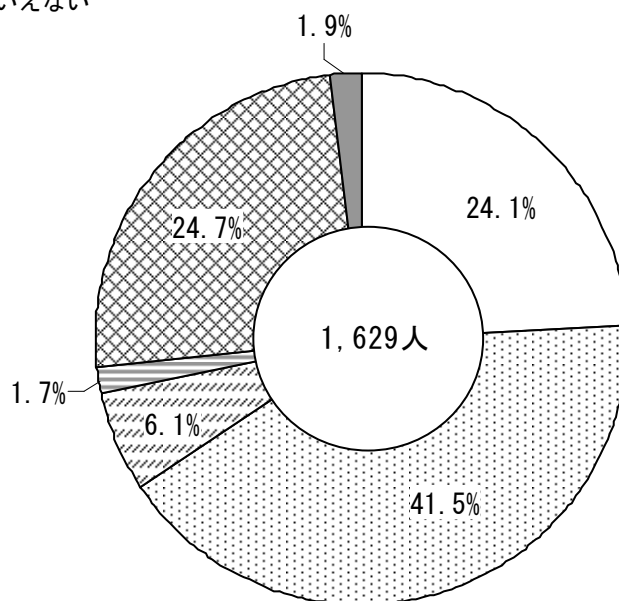
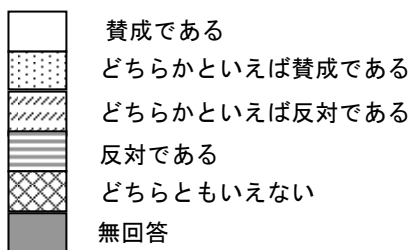
〔回答者数=1,629〕

1 賛成である	24.1%
2 どちらかといえば賛成である	41.5%
3 どちらかといえば反対である	6.1%
4 反対である	1.7%
5 どちらともいえない	24.7%
(無回答)	1.9%

「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことについては、「賛成である」は24.1%であるが、これに「どちらかといえば賛成である」の41.5%を合わせた【賛成】は65.6%と約3分の2を占める。一方、「反対である」(1.7%)に、「どちらかといえば反対である」(6.1%)を合わせた【反対】の割合は7.8%となっている。

#### 〈 「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことについて 〉

凡例



(2) 「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことに賛成である  
と考える理由

問 19 付問 1 【問 19 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

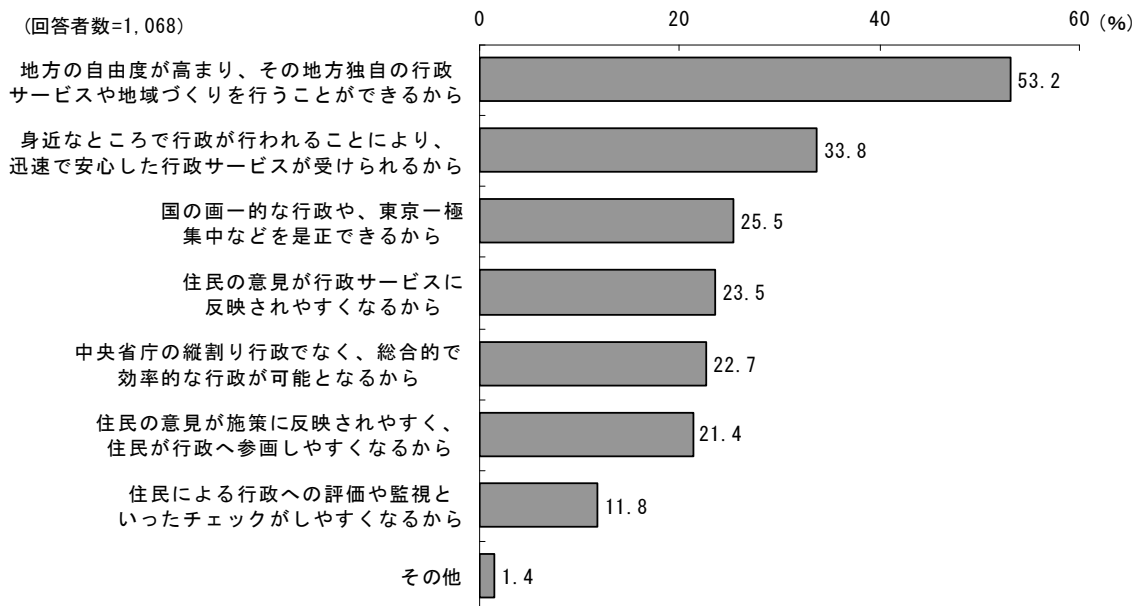
賛成であるとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを  
2つまで選んでください。

〔回答者数=1,068〕

1 地方の自由度が高まり、その地方独自の行政サービスや地域づくりを行うことができるから	53.2%
2 身近なところで行政が行われることにより、迅速で安心した行政サービスが受けられるから	33.8%
3 国の画一的な行政や、東京一極集中などを是正できるから	25.5%
4 住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるから	23.5%
5 中央省庁の縦割り行政でなく、総合的で効率的な行政が可能となるから	22.7%
6 住民の意見が施策に反映されやすく、住民が行政へ参画しやすくなるから	21.4%
7 住民による行政への評価や監視といったチェックがしやすくなるから	11.8%
8 その他	1.4%

「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことに賛成である  
と考える理由については、「地方の自由度が高まり、その地方独自の行政サービスや地域づくりを行  
うことができるから」が 53.2%と半数を超えて最も高く、次いで、「身近なところで行政が行わ  
れることにより、迅速で安心した行政サービスが受けられるから」が 33.8%、「国の画一的な行  
政や、東京一極集中などを是正できるから」が 25.5%、「住民の意見が行政サービスに反映され  
やすくなるから」が 23.5%などとなっている。

「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や  
税財源を移すことに賛成であるとする理由



(3) 「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことに反対である  
と考える理由

問 19 付問 2 【問 19 で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

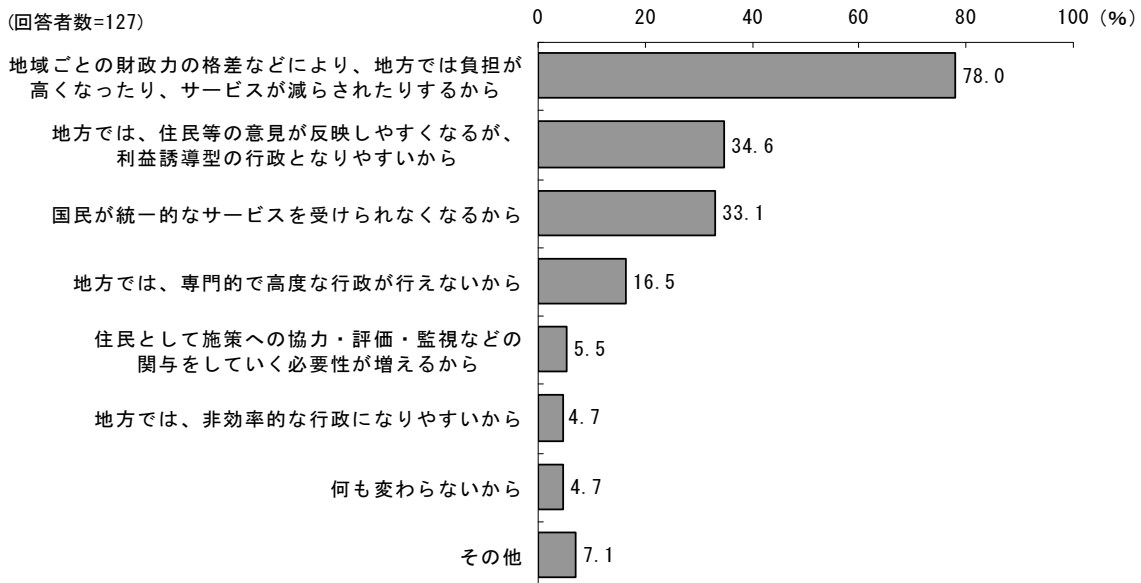
反対であるとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを  
2つまで選んでください。

[回答者数=127]

1 地域ごとの財政力の格差などにより、地方では負担が高くなったり、サービスが減らされたりするから	78.0%
2 地方では、住民等の意見が反映しやすくなるが、利益誘導型の行政となりやすいから	34.6%
3 国民が統一的なサービスを受けられなくなるから	33.1%
4 地方では、専門的で高度な行政が行えないから	16.5%
5 住民として施策への協力・評価・監視などの関与をしていく必要性が増えるから	5.5%
6 地方では、非効率的な行政になりやすいから	4.7%
7 何も変わらないから	4.7%
8 その他	7.1%

「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことに反対である  
と考える理由については、「地域ごとの財政力の格差などにより、地方では負担が高くなったり、サ  
ービスが減らされたりするから」が 78.0%と 8 割近く、これに「地方では、住民等の意見が反映  
しやすくなるが、利益誘導型の行政となりやすいから」が 34.6%、「国民が統一的なサービスを  
受けられなくなるから」が 33.1%、「地方では、専門的で高度な行政が行えないから」が 16.5%  
で続いている。

「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や  
税財源を移すことに反対であると考え理由



#### (4)「広域連携」のあり方について

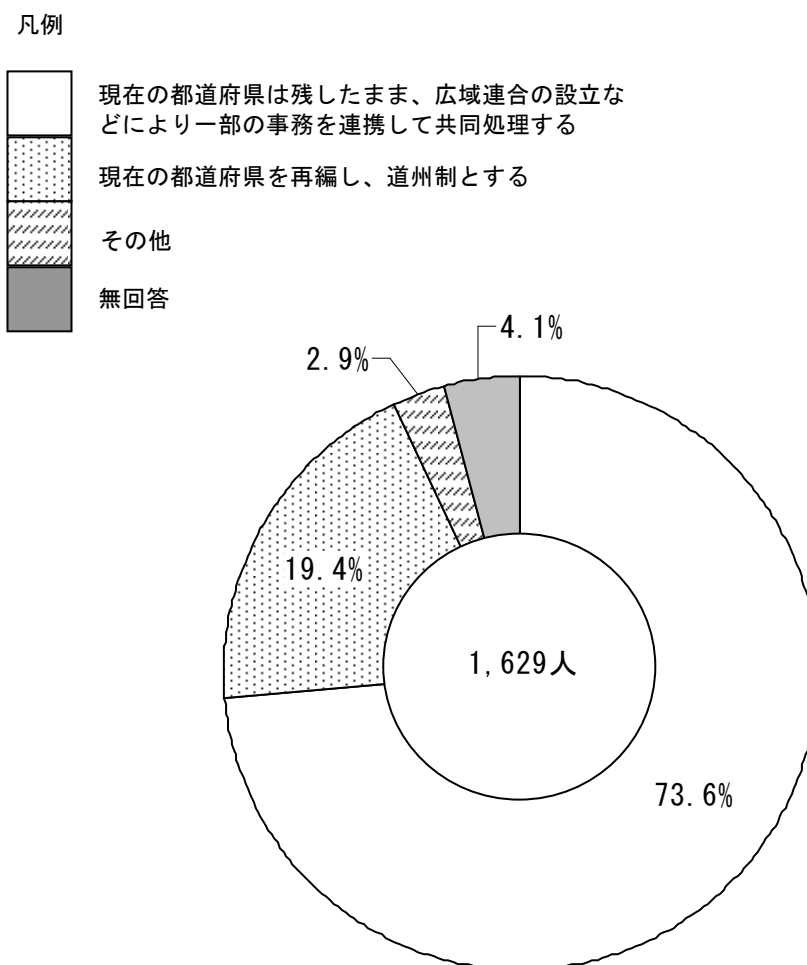
問 20 あなたは、広域連携のあり方をどのように考えますか。あなたの考えに一番近いものを1つだけ選んでください。

[回答者数=1,629]

1 現在の都道府県は残したまま、広域連合の設立などにより一部の事務を連携して共同処理する	73.6%
2 現在の都道府県を再編し、道州制とする	19.4%
3 その他	2.9%
(無回答)	4.1%

「広域連携」のあり方については、「現在の都道府県は残したまま、広域連合の設立などにより一部の事務を連携して共同処理する」が73.6%と7割を超えている。一方、「現在の都道府県を再編し、道州制とする」は19.4%と2割弱となっている。

#### 〈「広域連携」のあり方について〉



### (5) 共同処理する事務として特に必要なもの

問 20 付問 1 【問 20 で「1」と答えた方にお聞きします】

共同処理する事務としてどれが特に必要なものと考えますか。あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。

〔回答者数=1,199〕

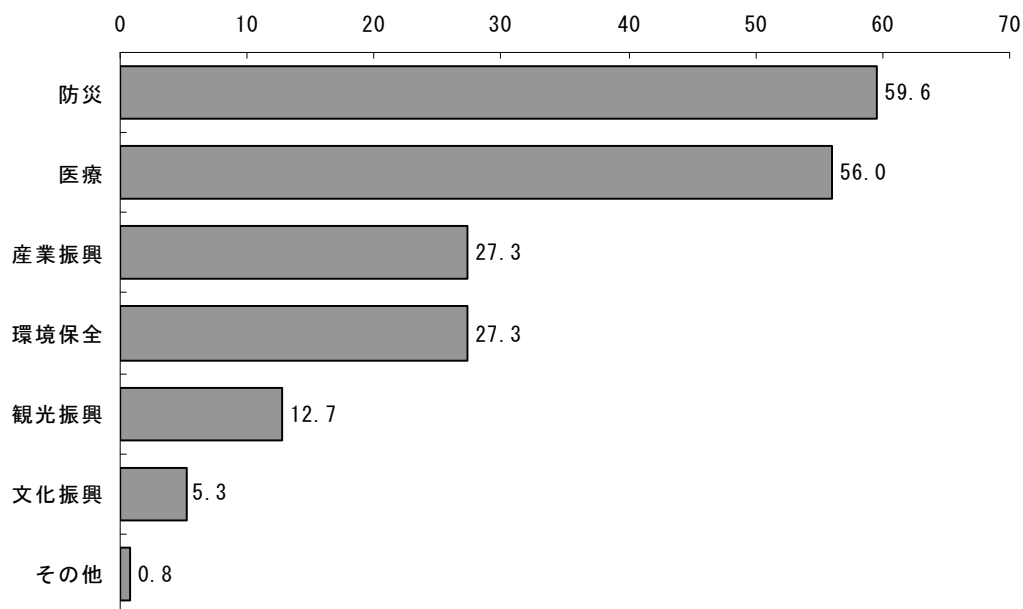
1 防災	59.6%
2 医療	56.0%
3 産業振興	27.3%
4 環境保全	27.3%
5 観光振興	12.7%
6 文化振興	5.3%
7 その他	0.8%

共同処理する事務として特に必要なものとしては、「防災」が 59.6%と 6 割近くで最も高く、「医療」も 56.0%と半数を超えている。そのほか、「産業振興」と「環境保全」がともに 27.3%、「観光振興」が 12.7%などとなっている。

#### 〈 共同処理する事務として特に必要なもの 〉

(回答者数=1,199)

(%)





(6) 道州制について

問 21 あなたは、道州制についてどう考えますか。あなたの考えに一番近いものを  
1つだけ選んでください。

[回答者数=1,629]

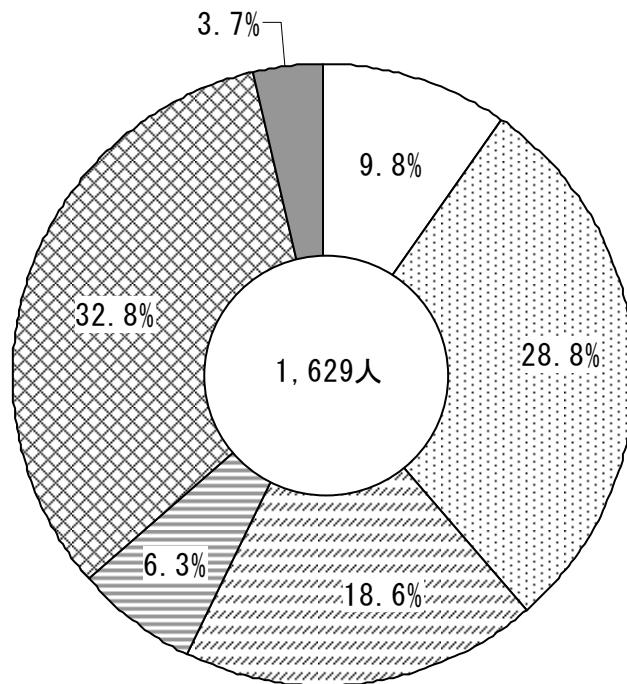
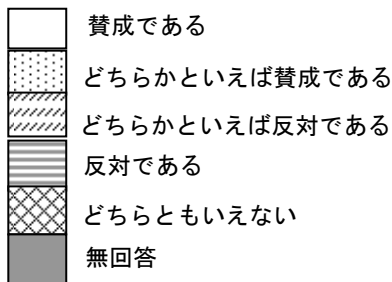
1 賛成である	9.8%
2 どちらかといえば賛成である	28.8%
3 どちらかといえば反対である	18.6%
4 反対である	6.3%
5 どちらともいえない	32.8%
(無回答)	3.7%

道州制については、「どちらともいえない」が32.8%と3割を超えて最も高くなっている。

「どちらかといえば賛成である」が28.8%で、これに「賛成である」の9.8%を合わせた【賛成】は38.6%と4割近くを占める。一方、「反対である」の6.3%と「どちらかといえば反対である」の18.6%を合わせた【反対】は24.9%と2割を超える。

〈 道州制について 〉

凡例



### (7) 道州制について、賛成であるとする理由

問 21 付問 1 【問 21 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

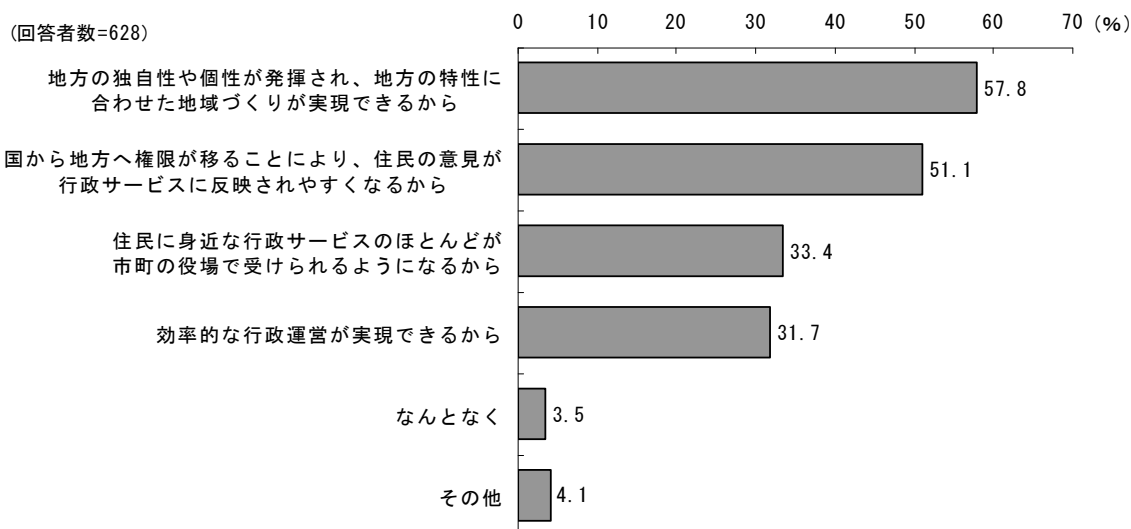
賛成であるとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを  
2つまで選んでください。

[回答者数=628]

- |   |       |
|---|-------|
| 1 地方の独自性や個性が発揮され、地方の特性に合わせた地域づくりが実現できるから    | 57.8% |
| 2 国から地方へ権限が移ることにより、住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるから | 51.1% |
| 3 住民に身近な行政サービスのほとんどが市町の役場で受けられるようになるから      | 33.4% |
| 4 効率的な行政運営が実現できるから                          | 31.7% |
| 5 なんとなく                                     | 3.5%  |
| 6 その他                                       | 4.1%  |

道州制について、賛成であるとする理由をみると、「地方の独自性や個性が発揮され、地方の特性に合わせた地域づくりが実現できるから」が 57.8%と半数を超えて最も高く、次いで、「国から地方へ権限が移ることにより、住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるから」も 51.1%と半数を超えている。そのほか、「住民に身近な行政サービスのほとんどが市町の役場で受けられるようになるから」が 33.4%、「効率的な行政運営が実現できるから」が 31.7%となっている。

#### 〈 道州制について、賛成であるとする理由 〉



## (8) 道州制について、反対であるとする理由

問 21 付問 2 【問 21 で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

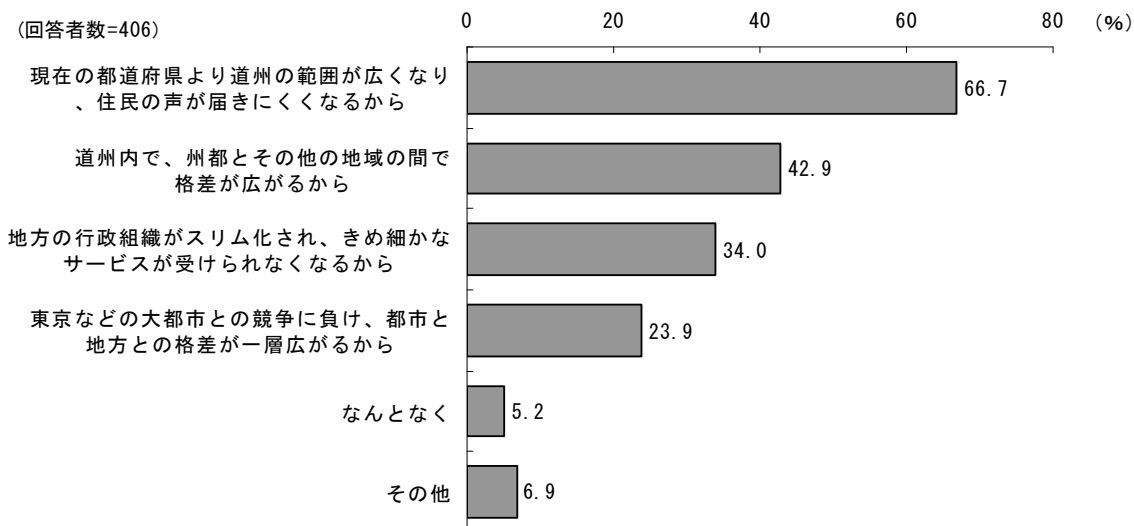
反対であるとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを  
2つまで選んでください。

〔回答者数=406〕

1	現在の都道府県より道州の範囲が広くなり、住民の声が届きにくくなるから	66.7%
2	道州内で、州都とその他の地域の間で格差が広がるから	42.9%
3	地方の行政組織がスリム化され、きめ細かなサービスが受けられなくなるから	34.0%
4	東京などの大都市との競争に負け、都市と地方との格差が一層広がるから	23.9%
5	なんとなく	5.2%
6	その他	6.9%

道州制について、反対であるとする理由をみると、「現在の都道府県より道州の範囲が広くなり、住民の声が届きにくくなるから」が 66.7%と3分の2を占めて最も高く、次いで、「道州内で、州都とその他の地域の間で格差が広がるから」が 42.9%、「地方の行政組織がスリム化され、きめ細かなサービスが受けられなくなるから」が 34.0%などとなっている。

### 〈 道州制について、反対であるとする理由 〉



(9) 道州制になる場合に、よいと思う区域割り

問 22 道州の区域割りについておたずねします。もし道州制になるとすれば、現在の香川県を含む州はどのような区域がよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

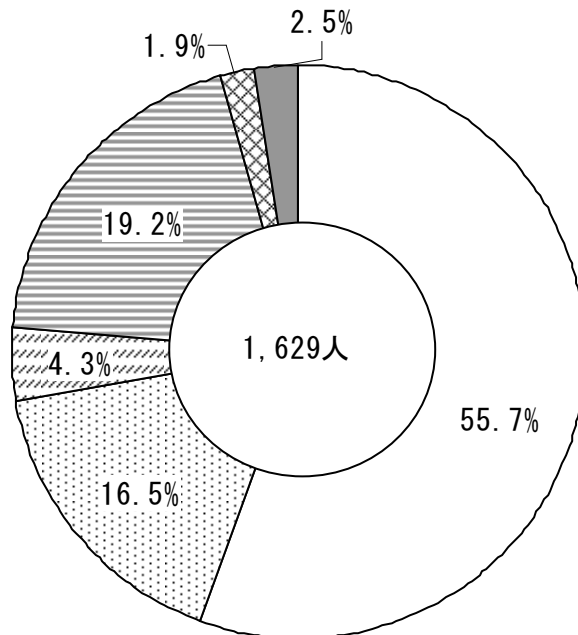
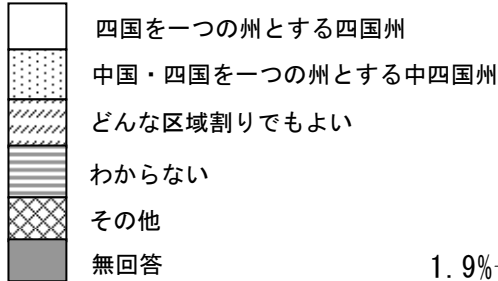
[回答者数=1,629]

1 四国を一つの州とする四国州	55.7%
2 中国・四国を一つの州とする中四国州	16.5%
3 どんな区域割りでもよい	4.3%
4 わからない	19.2%
5 その他	1.9%
(無回答)	2.5%

道州制になる場合に、よいと思う区域割りについては、「四国を一つの州とする四国州」が55.7%と半数を超え最も高く、「中国・四国を一つの州とする中四国州」が16.5%、「どんな区域割りでもよい」が4.3%などとなっている。そのほか、「わからない」が19.2%と2割近くを占めている。

〈 道州制になる場合に、よいと思う区域割り 〉

凡例



#### 4. 県政の重要度と満足度について

現在、県では新しい総合計画を策定中ですが、これまで県が取り組んできた「香川県新世紀基本構想 みどり・うるおい・にぎわい創造プラン」(平成13～22年度)の各施策の達成状況を評価したいと思いますので、各施策に対する重要度と満足度について皆さまの考えをお伺いします。以下の質問にお答えください。

「重要度」については、あなたが今の生活やこれからの生活を送っていくうえで各施策がどのくらい重要かを、また、「満足度」については、あなたが各施策に対して現状にどのくらい満足しているかを、それぞれ五段階で評価してください。

(1) 安全で快適な生活空間 (重要度)

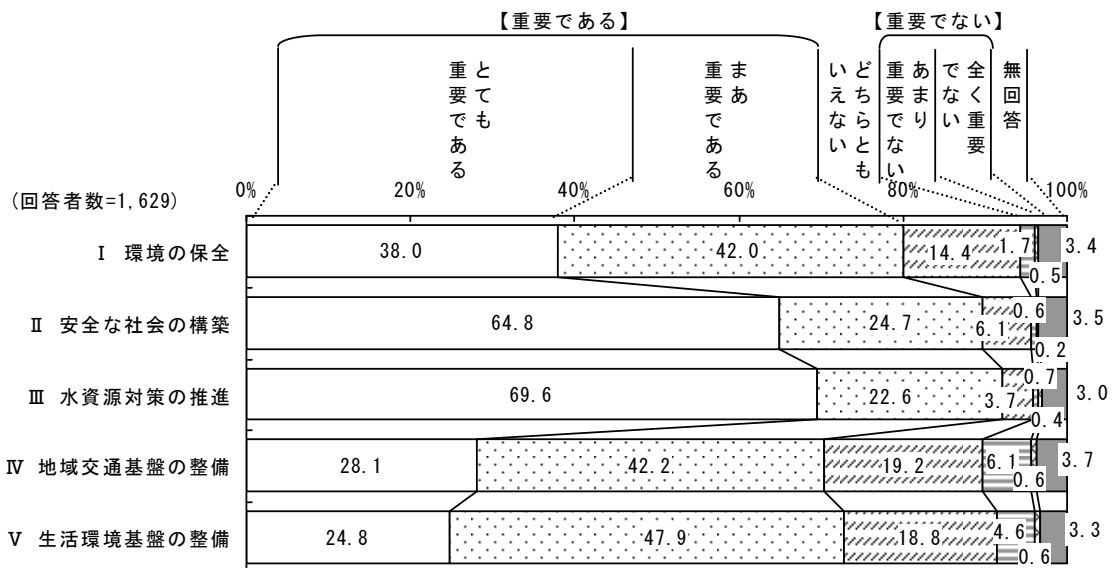
問 23 「安全で快適な生活空間」についておたずねします。Ⅰ～Ⅴの各施策についてあなたの<重要度>を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	重要度					
	① とても 重要である	② まあ重要である	③ どちらとも いえない	④ あまり重要でない	⑤ 全く重要でない	無 回 答
[回答者数=1,629]						
Ⅰ 環境の保全	38.0	42.0	14.4	1.7	0.5	3.4
Ⅱ 安全な社会の構築	64.8	24.7	6.1	0.6	0.2	3.5
Ⅲ 水資源対策の推進	69.6	22.6	3.7	0.7	0.4	3.0
Ⅳ 地域交通基盤の整備	28.1	42.2	19.2	6.1	0.6	3.7
Ⅴ 生活環境基盤の整備	24.8	47.9	18.8	4.6	0.6	3.3

「安全で快適な生活空間」について重要度をみると、どの施策項目でも「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】という人が7割を超えており、なかでも『水資源対策の推進』は92.2%と9割を超え、『安全な社会の構築』は89.5%と9割近くとなっている。

〈 安全で快適な生活空間(重要度) 〉



(2) 安全で快適な生活空間 (満足度)

問 23 「安全で快適な生活空間」についておたずねします。I～Vの各施策についてあなたの〈満足度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

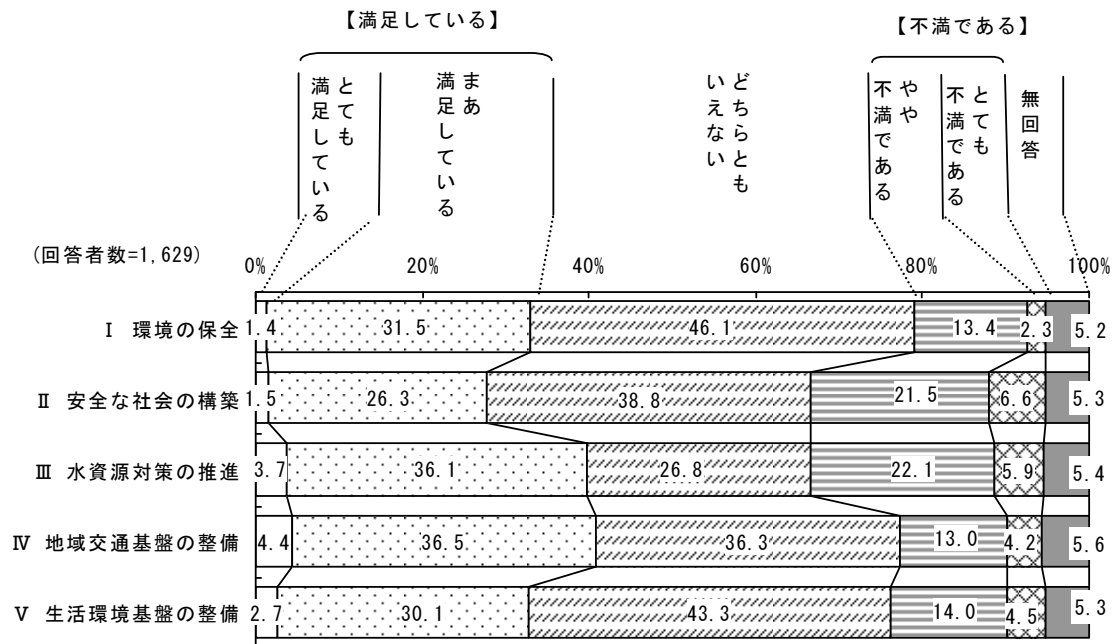
(単位：%)

	満足度					
	① とても満足している	② まあ満足している	③ どちらともいえない	④ やや不満である	⑤ とても不満である	無回答
[回答者数=1,629]						
I 環境の保全	1.4	31.5	46.1	13.4	2.3	5.2
II 安全な社会の構築	1.5	26.3	38.8	21.5	6.6	5.3
III 水資源対策の推進	3.7	36.1	26.8	22.1	5.9	5.4
IV 地域交通基盤の整備	4.4	36.5	36.3	13.0	4.2	5.6
V 生活環境基盤の整備	2.7	30.1	43.3	14.0	4.5	5.3

「安全で快適な生活空間」について満足度をみると、『環境の保全』と『生活環境基盤の整備』では「どちらともいえない」が4割を超えている。

『環境の保全』、『水資源対策の推進』、『地域交通基盤の整備』、『生活環境基盤の整備』については、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】という人が、「とても不満である」と「やや不満である」を合わせた【不満である】を上回っている。『安全な社会の構築』については、【不満である】が【満足している】をやや上回っている。

〈 安全で快適な生活空間(満足度) 〉







(4) ささえあい、安心して暮らせる社会（満足度）

問 24 「ささえあい、安心して暮らせる社会」についておたずねします。Ⅰ～Ⅷの各施策についてあなたの〈満足度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

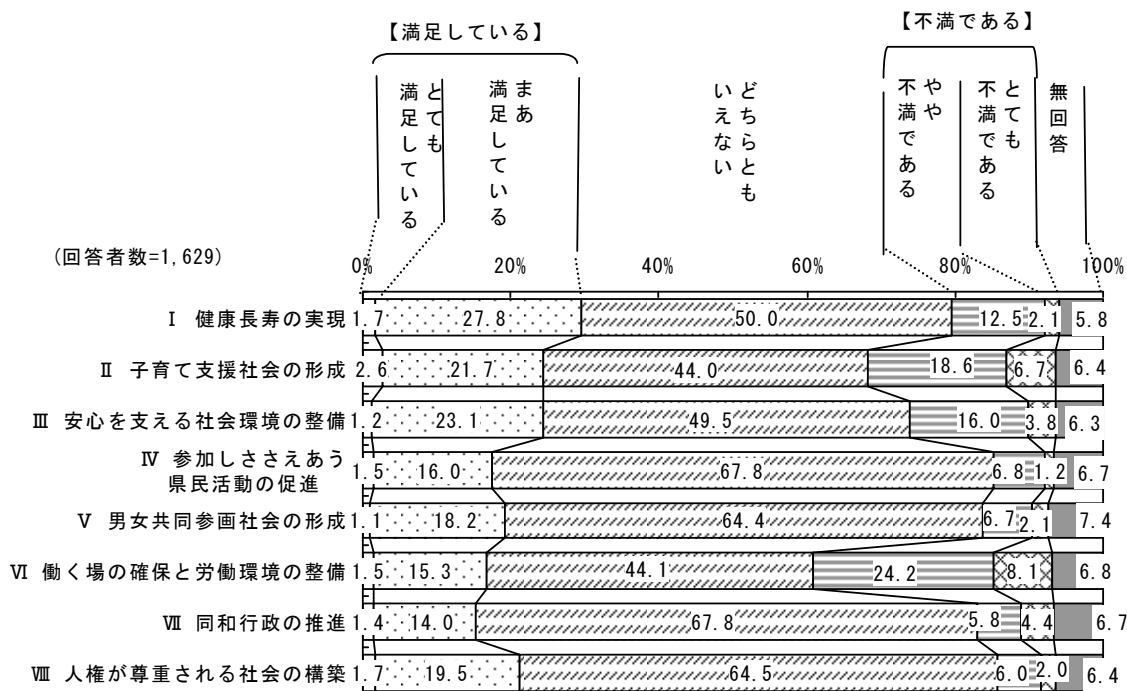
(単位：%)

	満足度					
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	無回答
〔回答者数=1,629〕						
Ⅰ 健康長寿の実現	1.7	27.8	50.0	12.5	2.1	5.8
Ⅱ 子育て支援社会の形成	2.6	21.7	44.0	18.6	6.7	6.4
Ⅲ 安心を支える社会環境の整備	1.2	23.1	49.5	16.0	3.8	6.3
Ⅳ 参加しさえあう県民活動の促進	1.5	16.0	67.8	6.8	1.2	6.7
Ⅴ 男女共同参画社会の形成	1.1	18.2	64.4	6.7	2.1	7.4
Ⅵ 働く場の確保と労働環境の整備	1.5	15.3	44.1	24.2	8.1	6.8
Ⅶ 同和行政の推進	1.4	14.0	67.8	5.8	4.4	6.7
Ⅷ 人権が尊重される社会の構築	1.7	19.5	64.5	6.0	2.0	6.4

「ささえあい、安心して暮らせる社会」について満足度をみると、『参加しさえあう県民活動の促進』、『同和行政の推進』、『人権が尊重される社会の構築』及び『男女共同参画社会の形成』では「どちらともいえない」が6割を超えており、そのほかの施策項目も4割以上となっている。

『働く場の確保と労働環境の整備』と『子育て支援社会の形成』については、【不満である】という人が、【満足している】という人を上回っている。なかでも『働く場の確保と労働環境の整備』では【不満である】が32.3%と3割を超えている。

く ささえあい、安心して暮らせる社会(満足度) 〉



(5) きらめく個性、豊かな心(重要度)

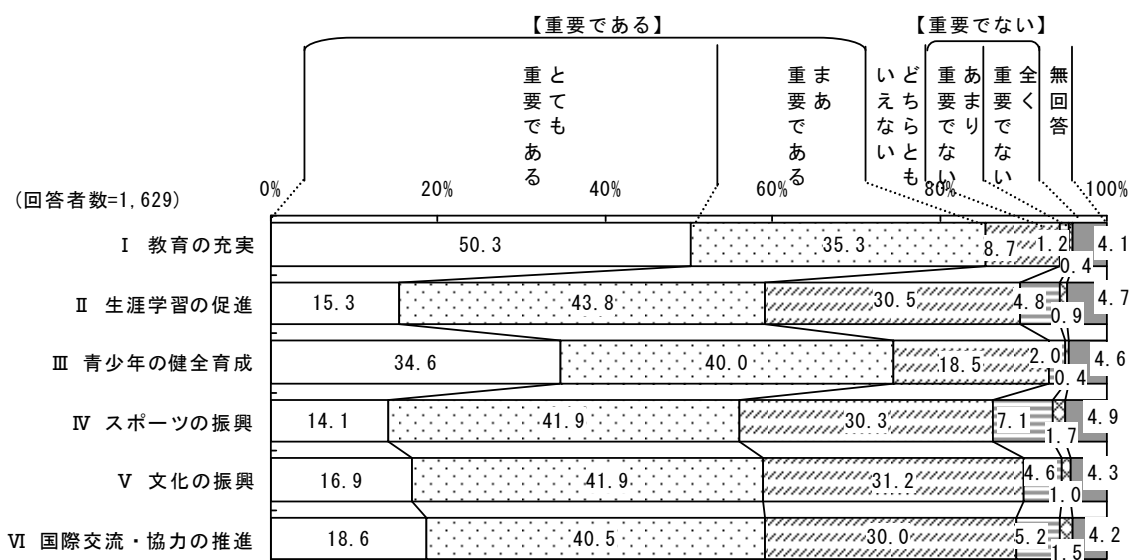
問 25 「きらめく個性、豊かな心」についておたずねします。I～VIの各施策についてあなたの〈重要度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	重要度					
	①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	無回答
[回答者数=1,629]						
I 教育の充実	50.3	35.3	8.7	1.2	0.4	4.1
II 生涯学習の促進	15.3	43.8	30.5	4.8	0.9	4.7
III 青少年の健全育成	34.6	40.0	18.5	2.0	0.4	4.6
IV スポーツの振興	14.1	41.9	30.3	7.1	1.7	4.9
V 文化の振興	16.9	41.9	31.2	4.6	1.0	4.3
VI 国際交流・協力の推進	18.6	40.5	30.0	5.2	1.5	4.2

「きらめく個性、豊かな心」について重要度をみると、どの施策項目でも【重要である】という人が半数を超えており、なかでも『教育の充実』は85.6%、『青少年の健全育成』は74.6%と、他の施策項目に比べ高い割合となっている。

〈 きらめく個性、豊かな心(重要度) 〉



(6) きらめく個性、豊かな心(満足度)

問 25 「きらめく個性、豊かな心」についておたずねします。I～VIの各施策についてあなたの〈満足度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

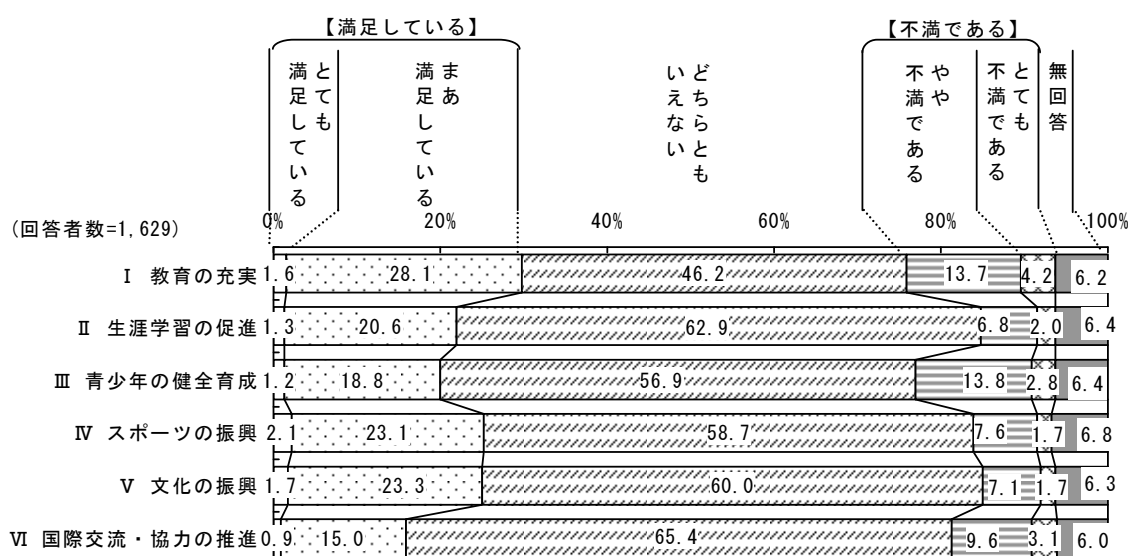
(単位：%)

	満足度					
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	無回答
[回答者数=1,629]						
I 教育の充実	1.6	28.1	46.2	13.7	4.2	6.2
II 生涯学習の促進	1.3	20.6	62.9	6.8	2.0	6.4
III 青少年の健全育成	1.2	18.8	56.9	13.8	2.8	6.4
IV スポーツの振興	2.1	23.1	58.7	7.6	1.7	6.8
V 文化の振興	1.7	23.3	60.0	7.1	1.7	6.3
VI 国際交流・協力の推進	0.9	15.0	65.4	9.6	3.1	6.0

「きらめく個性、豊かな心」について満足度をみると、『教育の充実』以外の施策項目では「どちらともいえない」が半数を超えており、なかでも『国際交流・協力の推進』、『生涯学習の促進』及び『文化の振興』は6割以上となっている。

どの施策項目についても、【満足している】という人が【不満である】という人を上回っている。

〈 きらめく個性、豊かな心(満足度) 〉



(7) 創造性と活力あふれる地域 (重要度)

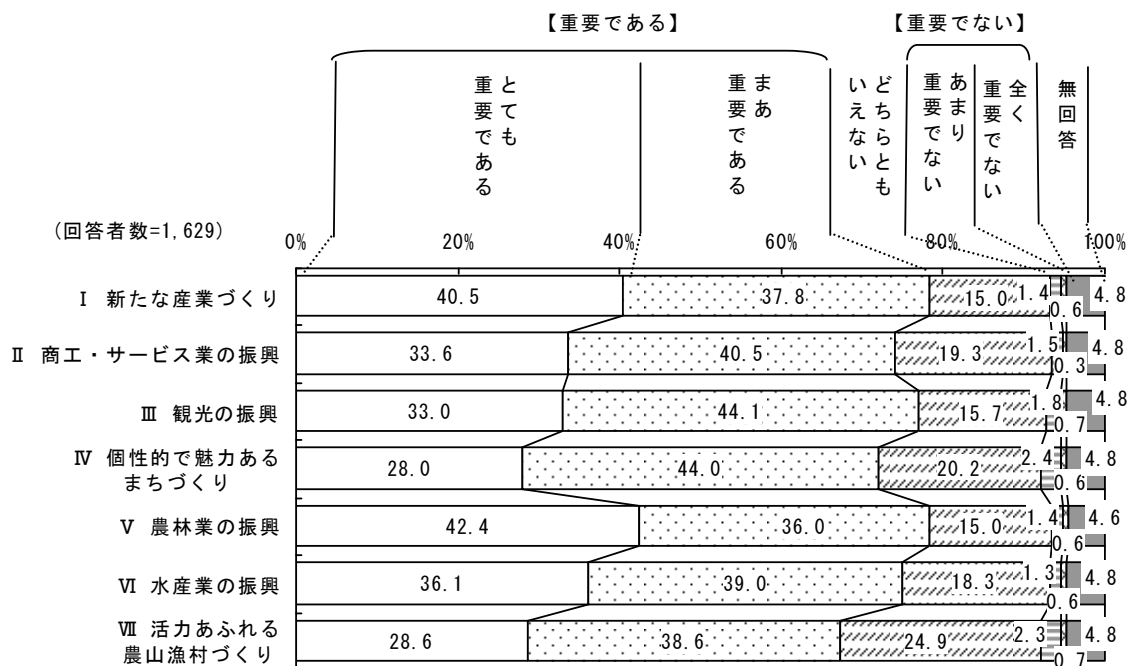
問 26 「創造性と活力あふれる地域」についておたずねします。Ⅰ～Ⅶの各施策についてあなたの〈重要度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	重要度					
	① とても重要である	② まあ重要である	③ どちらともいえない	④ あまり重要でない	⑤ 全く重要でない	無回答
[回答者数=1,629]						
Ⅰ 新たな産業づくり	40.5	37.8	15.0	1.4	0.6	4.8
Ⅱ 商工・サービス業の振興	33.6	40.5	19.3	1.5	0.3	4.8
Ⅲ 観光の振興	33.0	44.1	15.7	1.8	0.7	4.8
Ⅳ 个性的で魅力あるまちづくり	28.0	44.0	20.2	2.4	0.6	4.8
Ⅴ 農林業の振興	42.4	36.0	15.0	1.4	0.6	4.6
Ⅵ 水産業の振興	36.1	39.0	18.3	1.3	0.6	4.8
Ⅶ 活力あふれる農山漁村づくり	28.6	38.6	24.9	2.3	0.7	4.8

「創造性と活力あふれる地域」について重要度をみると、『活力あふれる農山漁村づくり』以外の施策項目については、【重要である】という人が7割を超えている。

〈 創造性と活力あふれる地域(重要度) 〉



(8) 創造性と活力あふれる地域 (満足度)

問 26 「創造性と活力あふれる地域」についておたずねします。Ⅰ～Ⅶの各施策についてあなたの〈満足度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

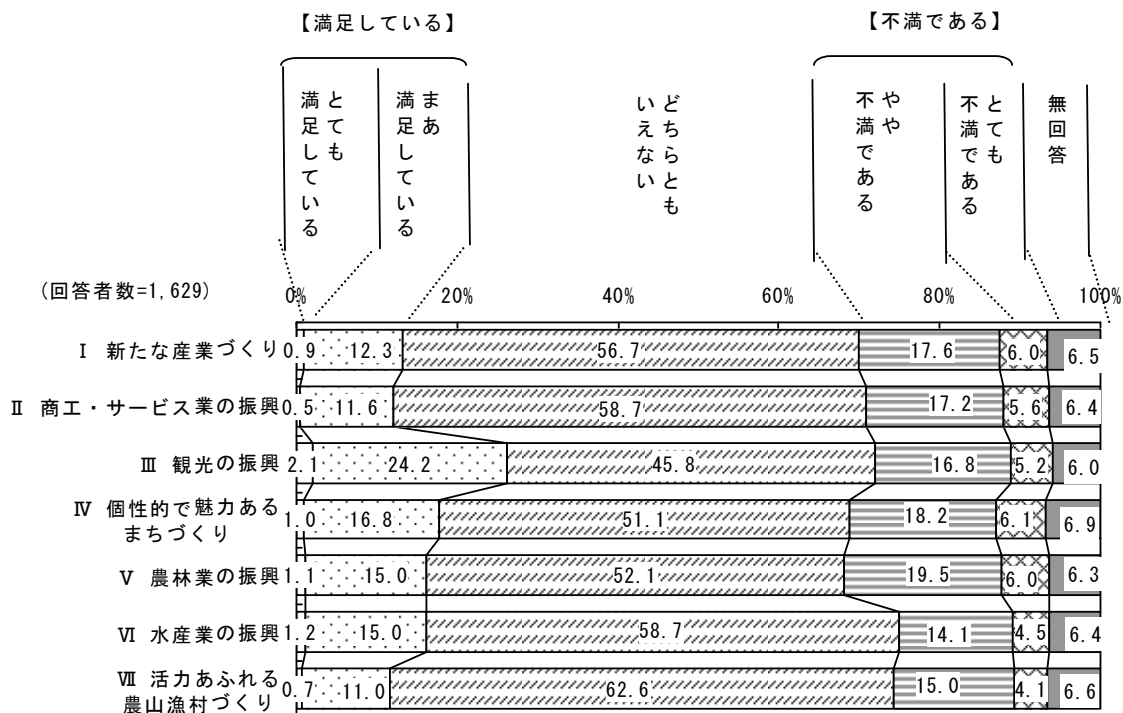
(単位：%)

	満足度					
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	無回答
〔回答者数=1,629〕						
Ⅰ 新たな産業づくり	0.9	12.3	56.7	17.6	6.0	6.5
Ⅱ 商工・サービス業の振興	0.5	11.6	58.7	17.2	5.6	6.4
Ⅲ 観光の振興	2.1	24.2	45.8	16.8	5.2	6.0
Ⅳ 個性的で魅力あるまちづくり	1.0	16.8	51.1	18.2	6.1	6.9
Ⅴ 農林業の振興	1.1	15.0	52.1	19.5	6.0	6.3
Ⅵ 水産業の振興	1.2	15.0	58.7	14.1	4.5	6.4
Ⅶ 活力あふれる農山漁村づくり	0.7	11.0	62.6	15.0	4.1	6.6

「創造性と活力あふれる地域」について満足度をみると、『観光の振興』以外の施策項目では「どちらともいえない」が半数を超えており、なかでも『活力あふれる農山漁村づくり』は6割を超えている。

『観光の振興』以外の施策項目では、【不満である】という人が【満足している】という人を上回っている。

< 創造性と活力あふれる地域(満足度) >



(9) 新時代の基盤 (重要度)

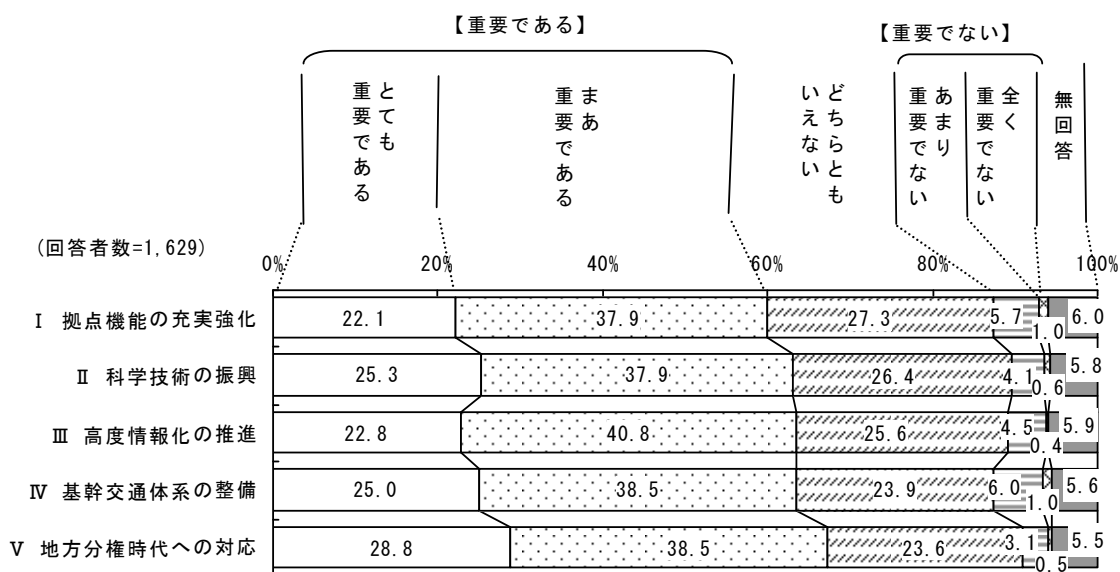
問 27 「新時代の基盤」についておたずねします。I～Vの各施策についてあなたの〈重要度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	重要度					
	① とても 重要である	② まあ 重要である	③ どちら ともい えない	④ あまり 重要で ない	⑤ 全く 重要で ない	無 回 答
[回答者数=1,629]						
I 拠点機能の充実強化	22.1	37.9	27.3	5.7	1.0	6.0
II 科学技術の振興	25.3	37.9	26.4	4.1	0.6	5.8
III 高度情報化の推進	22.8	40.8	25.6	4.5	0.4	5.9
IV 基幹交通体系の整備	25.0	38.5	23.9	6.0	1.0	5.6
V 地方分権時代への対応	28.8	38.5	23.6	3.1	0.5	5.5

「新時代の基盤」について重要度をみると、どの施策項目でも【重要である】という人が6割以上となっている。

〈 新時代の基盤(重要度) 〉



(10) 新時代の基盤（満足度）

問 27 「新時代の基盤」についておたずねします。Ⅰ～Ⅴの各施策についてあなたの〈満足度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	満足度					
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	無回答
〔回答者数=1,629〕						
Ⅰ 拠点機能の充実強化	0.6	14.0	63.9	10.8	2.9	7.8
Ⅱ 科学技術の振興	0.5	10.4	64.8	12.6	3.9	7.8
Ⅲ 高度情報化の推進	0.5	13.5	63.9	11.6	2.6	7.9
Ⅳ 基幹交通体系の整備	1.7	21.3	50.1	14.5	4.9	7.5
Ⅴ 地方分権時代への対応	0.9	10.9	63.4	12.8	4.5	7.6

「新時代の基盤」について満足度をみると、どの施策項目も「どちらともいえない」が半数を超えており、『基幹交通体系の整備』以外の施策項目は6割を超えている。

『拠点機能の充実強化』と『基幹交通体系の整備』については、【満足している】という人が、【不満である】という人を上回っている。『科学技術の振興』、『高度情報化の推進』及び『地方分権時代への対応』については、【不満である】という人が【満足している】という人を上回っている。

〈 新時代の基盤(満足度) 〉

